

JICA 関係者限定資料

エクアドル

任国情報

1999年

JICA LIBRARY



J 1152334 (7)

国際協力事業団

国際協力総合研修所

エ
ク
ア
ド
ル



国
際
協
力
総



は し が き

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家などのJICA関係者に、赴任国での生活上必要な情報を提供するものです。

本書の刊行にあたっては当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様から多大なご協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関のご好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

今後も本書の内容を一層充実させ、常に新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

なお、本書に記載された内容は、当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様の執筆を中心にまとめたものであり、国際協力事業団の公式見解ではないことを付記いたします。

平成11年9月

国際協力事業団
国際協力総合研修所長

*スペイン語の表記は、アクセント記号などを省略いたしましたのでご了承ください。



1152334 [7]

目 次

I 概 況	i
II 生活事情	1
1. 食生活	1
2. 衣 料	8
3. 住 宅	10
4. 医 療	13
5. 教 育	18
6. 家庭の使用人	22
7. 交通事情	27
8. 通 信	30
9. マスコミ	33
10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ	35
11. その他のサービス	43
12. 観 光	45
13. 治安、緊急時の心得	50
14. 出入国手続きおよび帰国手続き	53
15. 私財の輸送、引き取り、購入	55
16. 社 交	57
17. 任国官公庁	58
18. 在外日本関係機関など	59
19. 地方都市	60

I 概況

表-1: エクアドル概況

正式国名	(和文) エクアドル (英文) Republic of Ecuador*注1
独立年月日	1821年8月30日
旧宗主国	スペイン*注2
政体	共和制*注3
元首	ジャミル・マワ・ウィット大統領 (Jamil Mahuad Witt) *注2
位置・面積	北緯 1.4 度～南緯 5.1 度 西経 75.1 度～81.2 度*注4 276.84 千平方キロメートル*注5
首都	キト*注2、6
総人口	11.70 百万人 (1995 年)
民族	メスティーソ (白人と先住民の混血) 40%、インディオ、黒人、ムラト、サンボ、白人*注4
公用語	スペイン語*注2
宗教	主にカトリック*注7
暦*注2、8、9	<p><日本との時差> 本土-14 時間、ガラパゴス諸島-15 時間</p> <p>1月1日 新年</p> <p>1月6日 公現祭</p> <p>2月15・16日 カーニバル</p> <p>4月1日 聖木曜日</p> <p>4月2日 聖金曜日</p> <p>4月3日 イースター土曜日</p> <p>5月1日 メーデー</p> <p>5月24日 ピチンチャ戦勝記念日</p> <p>7月24日 ポリバル生誕記念日</p> <p>8月10日 キト独立記念日</p> <p>10月9日 グアヤキル市独立記念日</p> <p>10月12日 大陸発見記念日</p> <p>11月1日 万聖節</p> <p>11月2日 万霊節</p> <p>11月3日 クエンカ独立記念日</p> <p>12月6日 キト創立記念日</p> <p>12月25日 クリスマス</p>

出所 注1: 『国際協力事業団法令・規程集』国際協力事業団
 注2: 『世界年鑑』1998 共同通信社
 注3: 『国概況』1998 外務省
 注4: 『ラテン・アメリカ事典』1989 ラテン・アメリカ協会
 注5: World Development Indicators 1998 The World Bank
 注6: 『世界の国一覽表』1998 外務省
 注7: 『海外生活の手引き 南米編II』1997 世界の動き社
 注8: 国際航空運送協会 (IATA) 調べ
 注9: The Europe World Yearbook 1999/1999 Europe Publications

1. 国土の概要

エクアドルは南米大陸北部、北緯1.4度～南緯5.1度、西経75.1度～81.2度にあり、太平洋岸のほぼ赤道直下に位置する（エクアドルとはスペイン語で「赤道」の意味）。北はコロンビア、東と南はペルーと国境を接し、また、海岸から1000キロメートル沖の太平洋上にガラパゴス諸島を領有している。面積は28万4000平方キロメートル。国をほぼ南北に走るアンデス山脈を背骨のようにして、西側に海岸地帯、東側にアマゾン低地帯が開けている。中央の山岳地帯では二つの山脈が約400キロメートルにわたり、40～60キロメートルの間隔で並走し、その間をわたす小さな山脈とではしごのような地形をつくっている。はしごのすきまに点在する窪地が人々の生活の場である。海岸地帯は国土の4分の1を占め、なだらかな丘陵と低湿な平野が多く、バナナ、コーヒー、カカオ、砂糖キビなどの農業が盛んである。アマゾン地帯は国土の約2分の1を占めるが、人口は約3%に過ぎない。しかし、1960年代に油田が発見されてからは重要度を増しつつある。ガラパゴスは六つの大きな島と小さな群島から成る火山島地域で、人口は6000人ほどに過ぎない。

エクアドルの面積は、わが国の本州、九州および四国を合わせた広さにほぼ等しい。

(参考文献)

『ラテン・アメリカ事典』1989 ラテン・アメリカ協会
World Development Report 1995 The World Bank

2. 気候

エクアドルは赤道直下ではあるが、中央部をアンデス山脈が縦断しており、地域的に中央山岳部、海岸地域、アマゾン地域に三分され、気候もそれぞれ大きく異なる。海岸地帯は熱帯性気候であり、気温は25度から28度であるが、一部地域では35度に達する。

暖流とフンボルト海流（寒流）の影響を受けている。山岳地帯はその高度により気候が変わっているが、海拔2000～3000メートルの高原盆地は気温20度内外であり温暖である。アマゾン地域は一般に高温・多湿で、雨は1年中続き、気温は30度を超える。

アンデス山脈の西側の海岸地帯のグアヤキル市から北部は低湿なところが多く、6～11月の乾季と12～5月の雨季があるため農耕に適しており、降水量は1000ミリメートル以上で恵まれている。一方、アンデス山脈の東側の斜面はオリエンテ地方といわれ、アマゾンの最上流部にあたるいくつかの支流が東に流れ、一面の熱帯樹林地帯を形成している。このオリエンテについては正確な資料は得られないが、雨季は5～8月であり、年間降雨量は2500～3000ミリメートルあるいはそれ以上に達するといわれている。

表-2：キト市地方年間気候データ（1994年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間 平均
気温（℃）													
最高	20.1	20.4	20.3	20.6	21.1	21.2	21.6	21.6	23.2	21.8	20.6	20.9	21.1
最低	9.6	9.9	9.6	10.0	10.1	9.7	9.6	9.0	9.7	9.6	9.8	10.2	9.7
平均	14.1	14.4	14.2	14.6	15.1	15.5	15.3	15.3	16.1	14.7	14.2	14.9	14.9
湿度（％）													
最高	100	98	98	98	99	94	95	98	98	99	99	98	98
最低	38	41	43	34	40	36	30	30	33	34	42	39	37
平均	76	75	77	75	73	61	59	58	61	71	77	76	70
降雨量（mm）	193	112	244	201	103	1	3	3	28	90	187	80	104
降雨日数	15	15	23	22	21	4	3	3	7	10	24	15	13.5

出所 『海外生活の手引き 南米編 II』1997 世界の動き社

（参考文献）

『ラテン・アメリカ事典』1989 ラテン・アメリカ協会

『エクアドルの経済社会の現状』第4版 国際協力推進協会

APIC資料1993

3. 人口

・総人口：11,698,000人

・人口増加率：2.056%

・人口密度：1/42.256平方キロメートル

・主要都市人口：キト140万人、グアヤキル188万人、クエンカ24万人、マチャラ18万人（1995年現在）。

（参考文献）

World Development Indicators(WB)-1998 出典年：1998/統計年：1996

The Europe World Year Book 1998 Europe Publications

『世界年鑑』1998 共同通信社

4. 略史

表-3 : エクアドル略年表

年	出来事
1553年	インカ帝国滅亡
1809年	南米大陸最初の独立宣言
1822年	グラン・コロンビア共和国の一部として独立
1830年	グラン・コロンビア共和国から分離独立
1941年	国境問題でペルーと武力衝突
1944年	ベラスコ・イバラ大統領に就任（～1961）
1961年	急進左派アロセメナ・モンロイ大統領に就任
1963年	軍部によるクーデタ、軍事政権成立（～1966）
1968年	ベラスコ・イバラ大統領就任、70年に独裁制に移行
1972年	ロドリゲス将軍、クーデタにより政権掌握（～1976）
1976年	ロドリゲス大統領退陣、三軍の司令官からなる執政評議会が政権を担当
1979年	民政移管、ロドルス大統領就任
1981年	ロドルス大統領航空機事故で死亡、ウルタード副大統領が大統領に昇格
1984年	フェブレス・コルテロ大統領就任（～1988）
1988年	ロドリゴ・ボルハ・セバーリョス大統領就任
1992年5月	総選挙においてキリスト教社会党が最大議席を獲得
7月	大統領選において、協和連合党のシクスト・ドゥラン・バジェン氏が当選
1993年10月	民営化法案採択
1994年5月	議会選挙
1996年	アブダラ・ブカラン大統領就任
1997年	アブダラ・ブカラン大統領が国会により解任、アラルコン暫定大統領就任
1998年	ジャミル・マウ・ウィット大統領就任

出所 「ラテン・アメリカ事典」1989 ラテン・アメリカ協会
「エクアドル共和国概観」1990 外務省
The Europe World Yearbook 1993 Europe Publications
Country Report Ecuador 3rd quarter 1994 EIU
「中南米諸国便覧」1999 ラテン・アメリカ協会

5. 民族

人種構成は、メスティーソ（40%、白人とインディオの混血）、インディオ（39%）、黒人、ムラト、サンボ（11%）、白人（10%）となっている。

（参考文献）

『ラテン・アメリカ事典』1989 ラテン・アメリカ協会

6. 言語

スペイン語が公用語であるが、先住民の言語、特にケチュア語も使われている。ケチュア語その他の現地語は、総人口の約45%のインディオが使用しているとみられる。

（参考文献）

『ラテン・アメリカ事典』1989 ラテン・アメリカ協会

『海外生活の手引き 南米編 II』1997 世界の動き社

7. 宗教

エクアドルでは憲法により宗教の自由が保証されているが、スペイン植民地時代のカトリックの普及と教会のもっていた権力の影響で、国教はカトリックであり、貧しいインディオを含めカトリック信者がほとんどである。したがって、19世紀末からカトリック教会の政治介入はなくなったとはいえ、いまだにカトリック教会のエクアドル社会の中での影響は大きい。国民の約95%がカトリックの信者であるが、プロテスタント系の信者も存在する。

（参考文献）

『海外生活の手引き 南米編 II』1997 世界の動き社

8. 文化

国民の生活様式は一般的にスペインの影響が強い。指導層にはスペイン系白人が多く、古いスペインの生活様式が守られている都会では、ほぼ西洋式のエチケットが守られている。風俗は都会と地方では異なり、都会では概して欧米風俗であるが、地方ではインディオが古来の民族衣装を着て彼らの生活習慣を守っている。国民の気風は、山岳部の人間が概して保守的、閉鎖的であるのに対し、海岸部の人間は進歩的、開放的である。国民のほとんどがカ

トリックであり喜捨の観念に富むので、社会保障の手の届かない部分が補われている。

一般に個人主義的、家族主義的で、また、カトリック教会を通じた関係を大事にするため人間関係は広く親密であり、これが一種の身分保証にもなっている。

娯楽は家族、親類、友人が集まるフィエスタや映画観賞が一般的であるが、サッカー、テニスなどのスポーツ活動あるいは観戦も盛んであり、特にサッカーは人気がある。また、闘牛も行われており、都市の闘牛場では年に数回ずつスペイン、メキシコ、コロンビア、ヴェネズエラなどの闘牛士が妙技を披露する。

海拔 2800 メートルのキト市の旧市街はユネスコの文化遺産指定都市になっている。

(参考文献)

『ラテン・アメリカ事典』 1989 ラテン・アメリカ協会

『国立国会図書館月報』 1993 国立国会図書館

9. マス・メディア

(1) 新聞

主要日刊紙として『El Comercio』(6万部)、『El Tiempo』(3万5000部)があり、この他首都では『Hoy』(7万2000部)、『Ultimas Noticias』(6万部)がある。主要都市であるグアヤキルでは、『Expreso』(6万部)、『La Razon』(3万5000部)、『El Telegrafo』(4万5000部)、『El Universo』(17万4000部)がある。首都キトおよびグアヤキル以外の都市の地方日刊紙は、発行部数が少ない。

(参考文献)

The Europe World Yearbook 1999 1999 Europe Publications

(2) 放送

1995年現在、国内で約380万人のラジオ受信者、約110万人のテレビ受信者がいる。ラジオ局は、民放局が約300局、文化放送局が10局、教団に属する局が10局ある。テレビ局は地上テレビが6系統ある。衛星放送は、97年6月に米DirecTV系のGLAがサービスを開始した。

(参考文献)

The Europe World Yearbook 1999 1999 Europe Publications

『データブック世界の放送1999』1999 NIKK出版

10. わが国との関係

(1) 日本との外交関係概要

日本とは、1918年8月26日に外交関係を樹立し、1954年9月30日に外交関係が再開された。1990年に青年海外協力隊派遣取極が結ばれ、技術協力協定は1992年に締結、1994年に発効された。1997年10月時点での在留邦人数は495人。

(2) 要人往訪

1978年	北部アンデス経済使節団（桜田武団長）
1979年 8月	安孫子籐吉特派大使（大統領就任式）
1984年 8月	武藤嘉文特派大使（大統領就任式）
1984年	北川外務政務次官
1988年 1月	武藤嘉文衆議院議員（日・エクアドル友好議連会長）
1988年 8月	愛野興一郎特派大使（大統領就任式）
1991年 8月	武藤嘉文衆議院議員（日・エクアドル友好議連会長）
1992年 8月	中山正暉特派大使（大統領就任式）
1993年 11月	常陸宮同妃両殿下
1996年 8月	野坂浩賢特派大使（大統領就任式）
1998年 8月	成瀬守重特派大使（大統領就任式）
1998年 11月	町村政務次官

(3) 要人来訪

1982年	アルシバル商工統合相
1983年	バレンシア外相
1984年	クレスポ大統領特使
1985年	スウェット蔵相
1987年 7月	エスピノサ・エネルギー・鉱山大臣
1987年 11月	ガルシア外相
1989年 2月	バラガン最高裁長官（大喪の礼）
1990年 5月	コルドベス外相訪日（外務省賓客）
1990年 11月	パロディ副大統領（即位の礼）
1991年 3月	ベテル蔵相
1991年 12月	ドゥラン・バジエン大統領候補

1993年 8月 パレデス外相（外務省賓客）
 1994年 3月 ドゥラン・バジェン大統領（公式実務訪問賓客）
 1994年 6月 ロバリノ蔵相
 1994年 12月 コレア蔵相
 1995年 5月 レオロ外相（リオ・グループ・トロイカ外相会合）
 1995年 11月 アルミホス通貨審議会議長
 1998年 12月 ドゥラン大統領府官房長官
 1999年 3月 アヤラ外相（外務省賓客）

（参考文献）

『中南米諸国便覧』1999 ラテン・アメリカ協会

表－4：経済指標 [エル・サルヴァドル] 統計年：1996

GDP (百万ドル)	*注1	19,040
1人当たりGNP (USドル)	*注1	1157.3
実質GDP成長率 (%)	*注1	1.9
消費者物価上昇率 (%) 1990-96	*注1	36.6
失業率 (%)		10.4
貿易収支 (百万ドル)	*注1	1,200
輸出額 (fob)		4,900
輸入額 (fob)		-3,680
主要輸出入相手国 (1998年)	*注2	輸出：米国 (38.9%) 輸入：米国 (29.4%)
経常収支 (百万ドル)		111
対外債務残高 (億ドル)	*注1	145
債務返済比率 (%)	*注1	7.4
外貨準備高 (百万ドル)	*注1	1,879
為替レート (1999年4月)		1 USドル=9,255 スクレ
会計年度		1月1日～12月31日

出所 注1：World Development Indicators (WB)-1998 統計年：1996

注2：Country Report Ecuador 2nd quarter 1999 EIU

II 生活事情

1. 食生活

1-1 食料

(1) 一般事情

エクアドルは、太平洋岸沿いの臨海地帯（コスタ）、2系列のアンデス山脈にはさまれた盆地の高原地帯（シエラ）、東方アマゾン源流地帯に続く東部熱帯森林地帯（オリエンテまたはアマゾナス）の三つの地域から成っている。四季はほとんどなく、温暖な気候と比較的肥沃な土地に恵まれているため、1年中さまざまな農作物が豊富に生産されている。農産物には各地域の気候に合った麦、米、豆類、野菜、果物などがあり、種類は豊富である。また、畜産もほぼ全国規模で行われており、牛肉、鶏肉、豚肉をはじめ、卵、牛乳、バター、チーズなどが生産されている。水産物は輸出品の一つである養殖エビをはじめ、カニ、小イカ、魚類、貝類なども豊富に供給されている。

輸入食品も多く、日本食品にこだわらなければたいいものはスーパー（スーパーマキシ）で入手できる。

首都キト市および商業都市グアヤキル市では、エクアドル全土で生産されるほとんどの食料品を入手することができる。ゴボウ、ハウレンソウ、カボチャ、ナスなどの野菜は、サント・ドミンゴの日本人農家が2週間に1回、キトの邦人家庭に届けてくれる。

一般に、衛生管理はあまり徹底されていないので、屋台などでの飲食は控えたほうがよい。

(2) 主な食料の出回り状況

<米>

米は主食の一つであるため多く生産されている。当地の人が食べる米は日本米と異なり、水分が少なく粘り気はない。また、調理方法も違う。サント・ドミンゴの邦人農場で日本米によく似た米やカリフォルニア米を生産しているが、年により収穫量が異なるため、常時入手できるとは限らない。また、もち米は入荷時期を逃すと入手困難なので、和菓子づくりなどをとする人は日本から持参したほうがよい。

<パン>

ケーキとパンの店で安く入手できる。店により焼き方や味が異なるので、好みに合ったものを探すとよい。食パン、フランスパン、クロワッサン、デニッシュなどが

売られている。

<乳製品>

牛乳、バター、チーズ、生クリームなどは当地で生産されており、種類も豊富である。牛乳には、紙パックに入った長期間保存が可能なラルガビーダ（ネスル）とビニール袋に入っているものがあるが、スーパーで売られているラルガビーダのほうが無難である。チーズ、バターなどは日本のものとほぼ同じである。スペイン、イタリアなどから輸入されたチーズはおいしく、フランスから輸入されたカマンベールチーズなども手に入る。アイスクリームはサンシィパール（Zanzibar）というチェーン店のものが衛生的でおいしい。路上で売り歩いているものは控えたほうがよい。

<肉類>

キトは高地で酸素が少ないため、心がけて肉をとるとよい。牛肉（Vaca）がもっとも安く、豚肉（Cerdo）、鶏肉（Pollo）のほうが高価である（日本よりはかなり安い）。豚肉は十分に火を通すこと。当地では豚肉を長時間煮込んだフリターダを食べることが多い。店では胸、モモ、足などの部分にカットされ、パック入りで販売されている。ロモ・フィーノ（Lomo Fino）で販売している牛肉や豚肉は比較的柔らかく、邦人向きである。

ハム、ソーセージ、サラミなどの加工食品も豊富に出回っている。缶詰のコンビーフは日本のものとは大きく異なる。鶏卵は有色卵であるが、衛生的ではないため生で食べることは控えたほうがよい。

<野菜、果物>

品種は豊富で、たいいていのものは入手可能である。特に果物は新鮮でおいしい。ジャガイモは当地の主食の一つであり、品種が豊富で常時安価に購入できる。スーパーやメルカード（市場）ではタマネギ、長ネギ、トマト、ピーマン、トウモロコシ、キャベツ、レタス、ニンジン、マッシュルーム、サツマイモ、インゲン、キヌサヤ、ショウガなどやバナナ、パイナップル、リンゴ、アボカド、オレンジ、グレープフルーツ、メロン、マンゴ、パパイヤ、レモンなどが売られている。トウモロコシは粒が大きく硬い。また、トマテ・デ・アルボレ、ナランヒージャなど日本では見かけないものもある。トマテ・デ・アルボレ（血圧を下げる効果があり、のどにもよいといわれている）はジュースにしたり、甘く煮込んだりして食べる。ナランヒージャはジュースにする。

サント・ドミンゴの日本人農場から届けられるものには、ナス、白菜、カボチャ、ニラ、ハウレンソウ、キュウリ、ダイコン、ゴボウ、サトイモ、春菊、オクラ、三つ

葉、サニーレタス、高菜に似た漬け物などがある。

キト市のフランス人が経営するエル・アマネセル (El Amanecer) では、毎週水・土曜日の朝9時～午後13時頃まで野菜を販売しており、邦人を含む多くの外国人が利用している。販売しているのはトマト、キュウリ、ピーマン、ダイコン、ブロッコリー、カリフラワー、アスパラガス、ホウレンソウなどで、特にトマトなどはスーパーよりも品質がよい。生シイタケやタケノコなどはないが、干しシイタケや缶詰のタケノコはカサ・オリエンタル (Casa Oriental) で入手できる。

<魚介類>

魚介類は石油に次ぐ輸出産品であり、エビ類ではランゴスタと呼ばれる伊勢エビ、カマロンと呼ばれる車エビ、それらの中間でランゴスティーノと呼ばれるものなどがある。スーパーでは冷凍のエビ、タコ、コルビーナ (白身魚)、サーモンも売られている。カニ、小さなイカ、ムール貝などもある。エビは常時安く入手できる。貝は鮮度が不確かなので控えたほうがよい。マグロ、オイルサーディンなどの缶詰も比較的安く手に入る。

<調味料>

アメリカ製のキッコーマン醤油がある。中国製醤油やソースも売られているが、日本の醤油とは風味が異なる。また、韓国人や中国人の店ではペルー産の味噌を入手できるが、特にこだわりがある人は日本から持参したほうがよい。

韓国人、中国人の店では生ラーメン、乾めんなども売られているが、スープはない。必要であれば粉末などを持参するとよい。味の素、マーガリンは日本と同様のものがある。

<食用油>

コーン油、ラード、オリーブ油などが入手できる。ごま油は中国人の店で売られているが、日本から持参したり、コーン油にごま (白ごまは入手可能) を入れて沸騰・沈澱させてつくる方法もある。

<酒類、飲料水>

ウイスキー、ワイン、ブランデーなどがアメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、チリなどから輸入されており豊富である。日本製のサントリーオールドも日本より安価で入手できる。当地では、ロンと呼ばれるラム酒のコーラ割りがよく飲まれている。

ビールは輸入品のほか国産品が2種類 (ピンセネル、クルーベ) ある。日本酒として「千代田」(サントリー) が売られているが、飲用というよりも料理用である。

ミネラルウォーターにはガス入り (con gas) とガスなし (sin gas) がある。コーラ、ジュースなども豊富である。コーラは日本のものより炭酸が弱く甘い。コーラ、ファンタ (オレンジのみ) は1リットル瓶で販売されているが、容器代が高い。最初は瓶ごと購入して、次回からはその空き瓶を持参すると安く購入できる。酒販売店では水もビールも同様に扱っている。

(3) 食料の入手

アメリカンスタイルの大きなスーパーがあちこちにあり、ほとんどの食料品は容易に入手できる。中でもセントロ・コメルシアル・エル・ボスケ (C. C. El Bosque) 商店街の中のスーパーマキシ、ミ・コミサリアート (Mi・Comisariato) 商店街の中のスーパーマキシは大きい。また、メルカード・イナキト (市場) でもさまざまな食料品を安く入手できるが、価格表示はなく人を見て値を付けるため、値段交渉が必要である。

メルカード・イナキトの一面にはカサ・オリエンタル (Casa Oriental) と呼ばれる中国人が経営する店がある。質はよくないが干しシイタケ、韓国製「出前一丁」などのインスタントラーメン、時期によっては日本米、豆腐、ジャスミンティー、ダイコンなども入手できる。いつも混んでいるので、財布、身分証明書などの盗難に注意すること。

野菜はフランス人が経営するエル・アマネセル (El Amanecer) で、購入している邦人が多い。また、アメリカ製キッコーマン醤油、サントリーウイスキー、カップラーメンなどはエル・グリエゴ店 (El Griego) で扱っている。

各店の所在地は次のとおりである。

カサ・オリエンタル (CASA ORIENTAL)

所在地 : Jorge Drom y Villalengua、メルカードの一面

電話 : 468-247

営業 : 毎日 10 ~ 17 時頃

エル・アマネセル (EL AMANECER LEGUMBRES Y FRUTAS)

所在地 : Portugal 815 y Shyris

電話 : 440-672、464-939

営業 : 毎週水・土曜日、8 ~ 13 時頃

エル・グリエゴ (EL GRIEGO)

所在地 : Av. Naciones Unidas y Av. Los Shyris、ミ・コミサリアート商店街の中

電話 : 253-588

営業：9～19時頃

<日本から持参する保存食品など>

みりん、わさび、洋がらし、七味唐がらし、だしの素、粉末ゆず、粉末山椒、漬け物の素などは重宝する。また、日本茶（ウーロン茶は当地で購入可能）、のり、干しシイタケ、梅干し、かつおぶし、青のり、わかめ、だしコンブ、もち、そば、こんにゃく（粉）、乾燥納豆などもあるとよい。その他、カイワレダイコンなどの種を持参して栽培するのもよい。また、煎餅や羊羹を持参してもよい。

牛肉料理、鶏肉料理、エビ料理、洋菓子、和菓子のレシピ本を持参すると役立つ。

1-2 食器、調理器具など

(1) 食器、調理器具などの入手

和食器は入手不可能である。洋食器は、国産品および欧米製品が各種入手可能である。鍋、フライパン、圧力鍋、おろし金、欧米製の合理的で使いやすい調理器具も多種出回っている。まな板は木製のものとプラスチック製のものがある。

電子レンジ、ジューサー・ミキサー、カッタースライサー、トースター、コーヒーメーカー、オーブン、冷蔵庫なども入手可能である。キトのエル・ボスケなどの電器店では、エクアドル仕様の松下、ソニー、アイワなどの電化製品を販売している。

食品ラップ（プラスチックラップ）、アルミホイル、ペーパータオル、コーヒーのペーパーフィルターなども入手できる。

キト市は高地であるため、炊飯には圧力釜が不可欠である。通常の炊飯器は保温に利用できる。また、日本で圧力式電気炊飯器を購入して持参するのも方法である。

<圧力釜の使い方>

米を研ぎ、水を米の1.5～2倍程度加え、しっかり蓋をして強火（プロパンガス使用のうへ、高地で酸素が少ないため、強火でも日本の中火程度にしかならない）にかける。ピーといたら弱火にし、5分後に火を止めて蒸らす。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

<食器>

ご飯茶わん、汁碗、湯呑み、急須、どんぶり、小鉢、箸、割り箸、箸置きなど。

<調理器具>

すりばち、すりこぎ、蒸し器、菜箸、しゃもじ、おたま、包丁、出刃包丁、土鍋、巻き簀など。当地のおたまは使いづらく、包丁は切れ味が悪い。

<その他>

ホットプレートなどがあると便利である。電圧は120ボルト60ヘルツであり、日本

仕様の電化製品を使う場合は、安全のため入力電圧117V、出力電圧100V、容量1 KVA程度のトランスを持参したほうがよい。コンセント、プラグの形状は日本と同一である。

一時帰国時の立ち寄りや任国外旅行などで他国へ行く際、変換プラグが必要な場合もあるので事前に調べておくこと。

1-3 外食

(1) 飲食店

キト市にはスペイン、イタリア、フランス、中華料理店などが豊富にあり、肉料理や海産物料理を食べることができる。日本料理店は2軒あり、また中国人や韓国人が経営する店でも天ぷら、すき焼き、うどんなどを食べることができる。

グアヤキル市にも邦人が経営する日本料理店「津路 (TEL: 4-881183)」がある。

キト市内のレストランは次のとおりである。

<日本料理>

藤 (Fuji)

所在地: Robles 538 y Juan Leon Mera、大使館の近く

電話: 529-634

備考: 味噌汁や漬け物がおいしい

楽しい (Tanoshii)

所在地: Av. 12 de Octubre 1820 y Cordero (Hotel Oro Verde 内)

電話: 566-497、568-079

備考: 刺身や寿司がおいしい

<韓国&日本料理>

カーサ・デ・アシア (Casa de Asia)

所在地: Av. Amazonas 5444

電話: 241-373

備考: 焼き肉、キムチなど本場の韓国料理が味わえる

<中華料理>

カサ・チナ (Casa China)

所在地: Av. 12 de Octubre y Cordero

電話: 543-617

備考: 比較的邦人向き。ワンタンスープなどがおいしい

マヒコ・オリエンタル (Magico Oriental)

所在地 : Calle Paez y 18 de Septiembre

電話 : 233-767

備考 : 餃子やラーメンがおいしい

<エクアドル料理>

リンコン・ラ・ロンダ (Rincon La Ronda)

所在地 : Belo Horizonte 400 y Almagro

電話 : 540-459

備考 : 民族舞踊 (日曜) や音楽を楽しみながら食事できる

ラ・チョサ (La Choza)

所在地 : Av. 12 de Octubre 1821 y Cordero

電話 : 230-839

備考 : フリターダ (豚肉煮) がおいしい

<スペイン料理>

エル・メッソン・デ・ラ・プラデラ (El Meson De La Pradera)

所在地 : AV. Orellana y 6 de Diciembre

電話 : 504-815

備考 : 海産物と肉料理がおいしい

<スイス料理>

ラ・シャレ・スイス (La Chalet Suisse)

所在地 : Reina Victoria y Calama (Hotel Chalet Suisse 内)

電話 : 562-700

備考 : エスカルゴや肉料理がおいしい

<インターナショナル料理>

ラ・テレサ・デル・タルタロ (La Terresa del Tartaro)

所在地 : Av. Vaintimilla 1106 y Amazonas

電話 : 527-987、245-777

備考 : 最上階からの夜景が素晴らしく、肉料理がおいしい

<イタリア料理>

タバネルナ・ピEMONTE (Taberna Piemonte)

所在地 : Eloy Alfaro 2286 y Fernando Ayarza

電話 : 242-474

(2) その他の飲食店

Hotel Colon Internacionalには二つのレストランと二つのバーがある。Hotel Quitoには最上階に眺めのいいレストランがある。Hotel Oro Verdeには日本レストラン(地下)とフレンチレストラン(1階)がある。

2. 衣料

2-1 衣料

(1) 一般事情

キト市は標高2860メートルの高地にある。1年に乾季と雨季はあるが四季はない。朝夕は10℃くらいまで冷え込み、日中は23℃くらいまで気温が上昇する。「1日のうちに四季がある」といわれるほどの気温差である。また、日中でも日陰に入ると涼しい。したがって、日中外出する場合でも、帰りが夕刻になるようであればカーディガン、セーターなどが必要になる。街では半袖の人がいるかと思えば、セーターやコートを着ている人までおり、服装はさまざまである。

グアヤキル、サリーナス、マンタ、エスメラルダスなどの海岸平野地帯の平均気温は20～26℃で、セーターなどは不要である。出張や旅行などで低地へ行くことも考えて、半袖などの夏物も持参したほうがよい。

品質を問わなければ、皮ジャンパー、セーター、下着、靴下、靴など、一通りの物は入手できる。フランス製やイタリア製品もかなり出回っている。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

当地の人と邦人の体型は同様であり、サイズ的には当地製品でも間に合うが、その品質を考慮すると一通りのものは日本から持参したほうがよい。特に、スーツ、長袖シャツ、カーディガン、ズボン、下着、靴下、ストッキングなどを持参するとよい。また、ワイシャツは袖が長いことが多いため、特に持参をすすめる。スリッパやサンダルはあまり見かけないので、必要に応じて持参したほうがよい。そのほか低地へ旅行するときのための半袖シャツ、短パン、水着などもあればよい。

(3) 任国で調達したほうがよい衣料

かわいいデザインの幼児服やベビー服が豊富である。

イバッラの近くのコタカチ(キトより車で約3時間)では、皮製品を安く購入することができる。ただし、なめし革の品質はあまりよくない。靴も安価に購入でき、足に合わせてオーダーできる。修理費も安く、きれいに直してもらえる。

オタバロには木曜日と土曜日に市場が立ち、セーターやカーディガンなどを比較的安く購入できる。外国人には高い値を付けることが多いので交渉が必要である。

(4) その他の留意点

キトでは非常に紫外線が強いため、大きめの帽子や日傘の利用をすすめる。品質やデザインを問わなければ、当地の一流ホテルやエル・ボスケ、ミ・コミサリアートの商店街でも入手できる。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性はスーツ、女性はフォーマルなワンピースやロングドレスでよい。和服を着てもよいが、必ずしも必要というわけではない。ネックレスなどの装飾品は街中では着けず、パーティー会場などに到着してから身に着けたほうが安全である。

(2) 式典

天皇誕生日には、邦人および当地有力者などを招いて大使公邸で祝賀会が開かれる。男性はスーツ、女性はワンピースなどのあらたまった服装であればよい。エクアドルの祝祭日や配属機関の行事に出席することもあるが、この場合も同様である。

(3) 冠婚葬祭

特に格式の高い結婚式では、男性はモーニング、女性はロングドレスを着用する。一般的な結婚式では普通のスーツやフォーマルなワンピースなどでよい。

葬儀には黒の喪服が一般的であるが、ない場合は地味な服装でよい。

(4) その他の留意点

キトは「紳士淑女の街」といわれるほど女性も男性もおしゃれな人が多い。特にサラリーマンたちの身なりはきちんとしている。邦人も身だしなみには気をつけること。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店はあちこちにある。スーツなど大切な衣料を出す場合は、信用のある大きな店か一流ホテル内にある店を利用するとよい。

洗濯石けんは固形、粉末など各種入手できる。家具付き住宅には電気洗濯機を備えているところもあるが、地元の人には、固形石けんをコンクリート槽にこすりつけて洗うのが一般的である。家政婦／夫にデリケートな衣類を洗ってもらう場合は、力加減などを指導したほうがよい。洗濯後は目立つところに干さないよう注意すること。室内にロープなどを張って干すのが一般的である。日本から洗濯ロープを持参すると重

宝する。洗濯機やアイロンは当地でも入手可能である。

(2) 仕立て、修繕

該当情報なし。

(3) 保管

キトは高地であるため乾燥しており、害虫による被害は少ない。芳香剤を兼ねた防虫剤がスーパーなどで入手できる。

3. 住宅

3-1 一般事情

キトやグアヤキルでは人口の集中化が著しく、一般的には住宅難であるが、外国人向けマンションやアパートなどは豊富である。アパートは供給過剰気味であるが、条件のよい家具付き住宅は比較的少ない。

キトは比較的治安がよく環境もよい。したがって独立家屋に住むことも可能であるが、多くの邦人はより高い安全性を求めて門番付きのアパートに居住している。また、邦人の多くは、キト北部（エル・ボスケ地区、カロリーナ公園周辺の地域、ゴンサレス・スアレス地区など）に住んでいる。

ホテルは外国人対象の高級ホテルから1泊10ドル前後の簡易ホテルまで多数あり、長期滞在者のための自炊ができるホテルもある。食事付きの下宿もあるが、食事が口に合わないなどの理由で自炊ができるホテルかペンションを利用する人が多い。

全国的に上水道の整備が遅れているため、水が不足している地域が多い。事前に調べて水道の便のよい地域を選ぶこと。貯水タンクを設けてタンクローリーで水を購入し、断水に備えているアパートやマンションもある。

3-2 ホテル事情

キトではホテル・コロソ、ホテル・キト、ホテル・アラメダなどが有名である。

邦人がよく利用しているホテルは次のとおりである（宿泊料は消費税10%とサービス料10%込み）。

<最高級クラス>

アラメダ・リアル (Alameda Real)

所在地：Roca 653 y Av. Amazonas

電話：562-345

備考：あらゆる施設が整っている。1泊100ドル程度。ショッピング街や大使館が近く便利で

ある

コロン・インテルナシオナル (Colon Internacional)

所在地 : Av. Patria y Amazonas

電話 : 561-333

備考 : あらゆる施設が整っている。1泊100ドル程度。上記のアラメダ・レアルの近くで便利である

オーロ・ベルデ (Oro Verde)

所在地 : Av. 12 de Octubre 1820 y Cordero

電話 : 566-497

備考 : あらゆる施設が整っている。長期滞在可。1泊100ドル程度。日本レストラン「楽しい」がある

キト (Quito)

所在地 : Av. Gonzales Suarez 2500

電話 : 544-600

備考 : 1泊80ドル程度。繁華街から少し離れているが景色がよい。大きなプールがある

<一級クラス>

シャレ・スイス (Chalet Suisse)

所在地 : Reina Victoria y Calama

電話 : 548-744

備考 : 繁華街にあり、1泊60ドル程度。レストランの食事がおいしい

エンバシイ (Embassy)

所在地 : Wilson 441 y Av.6 de Diciembre

電話 : 543-614

備考 : 長期滞在可。1泊50ドル程度。周辺環境はあまりよくない

アマランタ (Amaranta)

所在地 : Leonidas Plaza 194

電話 : 560-585

備考 : 長期滞在可。税・サービス込みで50ドル程度

3-3 住宅の探し方

在留邦人の紹介によるのが無難であるが、新聞広告や斡旋業者を通して探すことも可能である。

斡旋業者は次のとおりである。

ルシイ・ピタ (Luoy Pita Rivadeneira)

所在地 : Carlos Montufar 380 y Quiteno Libre

電話 : 448-005、448-051

エクアインモビリアリア (Ecuainmobiliaria S.A)

所在地 : Gaspar de Villarroel s/n y 6 de Diciembre

電話 : 460-364

インモビリアリア・ネクソス (Inmobiliaria Nexos Cialtda)

所在地 : Dicientro El Bosque No 21

電話 : 445-346、463-080

マリア・デ・ロルデス (Maria de Lourdes de Aguirre)

電話 : 459-601

3-4 住宅の選定上の留意点

まず安全地域であるか、周辺の環境はどうか、タクシーやバス、買い物の便はよいかなどがポイントである。

次に、車庫の有無、家具の有無、電話の有無（申し込みから設置までに数年かかることもある）、国際通話の可否、冷蔵庫、洗濯機、テレビなどの電気製品の有無、上水道設備の状態、断水の頻度、貯水タンクや電気温水器の有無、ビデの有無、食器や調理器具の有無、プロパンの予備の有無、光熱費の支払い方法、安全性（日常および一時帰国などで長期留守にする場合）などである。

最近では電磁調理器も出回っているが、濁水による停電が多いため、ガスコンロの利用が望ましい。

3-5 住宅の契約

通常、当初の契約期間は1年であり、それ以上は自動延長となる。諸経費はドル払いを要求されることが多い。入居時に保証金として家賃1カ月分を請求されることが多いが、これは家を明け渡す際、特に問題がなければ返還される。管理費は高額であることが多いので（次項参照）、家賃に含まれているかどうか契約時に必ず確認すること。家具付き住宅の場合は、調度品リストをもらって家主立ち会いの下で一つ一つ確認することが必要である。

明け渡しの際は1～2カ月前に通知する必要がある。

3-6 電気、ガス、水道などの手続きと管理

アパートには門番（ポルテロ）が常駐しているので、戸別に特に防犯対策をとる必要はない。門番にはごみ処理なども依頼できる。電話、水道、電気使用料の請求は毎月ある。各地にある電話会社（エメテル）や銀行で支払う。

プロパンガスは常に予備のボンベを1本備えておくことが望ましい。プロパンガス業者は毎日のように車で巡回販売している。1ボンベ（15キロのみ）4000スクレ（160円程度）と非常に安い。

アパートでは、門番や庭師の人件費、共有スペースの電気・水道・ガス使用料などを管理費として請求されるのが一般的である。1カ月100ドル前後が多いが、プールやサウナ付きのアパートでは100～150ドルになる。

3-7 その他

高級住宅には暖炉がついているところもあるが、寒がりの人はファン付き電気ストーブやプロパンガスストーブを日本から持参するとよい。暖炉用の薪も業者が回っているので入手は容易であるが、プロパンガスに比して割高である。

4. 医療

以下の記述は、執筆者が現地滞在経験に基づきまとめた一般参考情報で、必ずしも医療専門家の校閲を受けたものではありません。したがって、詳細（特に緊急時の対応や予防薬の服用方法など）については、事前に医療関係者から専門的アドバイスを受けるようにしてください。

4-1 赴任前の準備

(1) 予防接種

野口英世博士がグアヤキルにおいて黄熱病の研究に貢献したことで知られているように、当地では黄熱病の予防接種は不可欠である。しばしば清掃局が長期ストライキを行うことがあり、特に海岸地帯などの高温多湿地域ではマラリア、デング熱などが流行することがある。また、野犬が多いため狂犬病や破傷風の予防接種を受けておいたほうがよい。海岸地帯に勤務する人は、抗マラリア剤の持参も有用であろう。

肝炎の予防接種は数カ月間（個人差がある）しか効力がないが、赴任当初は心身ともに抵抗力が弱ることがあるので、できれば受けておいたほうがよい。

新生児と乳幼児については、JICA（JICA派遣専門家の場合）や日本検疫衛生協会などに相談すること。母子手帳を英訳、スペイン語訳にしたものを持参することをすす

める。当地でもBCG (Tuberculosis)、ポリオ (Poliomielitis)、はしか (Sarampion)、ジフテリア (Difteria) などの予防接種を受けることは可能である。

(2) その他の準備

当地の医薬品はおおむね邦人には強過ぎるため、JICA提供の医薬品以外にも必要なものがあれば日本から持参したほうがよい。キトは高地のため1日の温度変化が激しく、かぜをひきやすく、かつ治りにくい。必要に応じてビタミン剤、カルシウム剤なども持参するとよい。

赴任前に受ける健康診断の結果を英訳、スペイン語訳して持参することをすすめる。診断書の英訳は三井ビル・クリニックなどで作成できる(有料)。持病のある人も同様に診断書の英・スペイン語訳を持参すること。

眼鏡店は多数あるが、プラスチックレンズ、軽量フレーム、ソフトコンタクトレンズなどは入手困難である。予備を含めて持参したほうがよい。

4-2 医療事情

(1) 医療機関

医療システムはアメリカ式である。診察を受けて医師から処方せんをもらい、薬局 (Farmacia) で医薬品を購入する。注射には使い捨て注射器が使われており、これは薬局でも販売している。注射液も処方せんで薬局から購入する。その場で打ってもらうか病院へ持参して打ってもらう(手数料がいる)。検査機関も独立している。

入院費用は非常に高い。名目は部屋代、手術室使用料、医師の技術料、薬代などに細かく分かれており、手術後3日間入院した場合、およそ1500ドルほどになる。検査診察だけでも約30ドルはかかる。個室が一般的であるが相部屋(2人用)もある。

邦人がよく利用する病院は次のとおりである。いずれも設備が整っており、海外で研修を受けた医師がいるため英語も通じる。

Hospital Metropolitano (オスピタル・メトロポリタノ)

所在地 : Av. Mariana de Jesus

電話 : 431-520

Hospital Voz Andes (オスピタル・ボス・アンデス)

所在地 : Vilalengua 267

電話 : 241-540

Clinica Pasteur (クリニカ・パステウル)

所在地 : Av. Eloy Alfaro 552

電話 : 546-519、568-616

Clinica Quirurgico Pichincha (クリニカ・キルルヒコ・ピチンチャ)

所在地 : Veintimilla 1259 y Paez

電話 : 561-643

Clinica Internacional (クリニカ・インテルナシオナル)

所在地 : Av. America 3520 y Av. Atahualpa

電話 : 521-140

Clinica de La Mujer (婦人病院)

所在地 : Av. Amazonas 482 y Gaspar de Villarroel

電話 : 458-000

(2) 緊急時の対応と措置

前述の Hospital Metropolitano と Hospital Voz Andes には救急部門があり、常時受け付けている。自家用車で行くのが確実であるが、できない場合はタクシーまたは赤十字の救急車 (Cruz Roja Ambulancia、TEL:131) を利用することになる。

民間の救急車にはアダミ (Ambulancia Adami、TEL:265-020) やウッチム (Ambulancia Utim、TEL:442-974) がある。市外ではアエレア (Ambulancia Aerea、TEL:449-191) を利用する。いずれも車中で救急処置がなされる。お産の際の救急車は、マテルニダ (Mternid Dad、TEL:231-502、231-503) に要請する。

4-3 医薬品など

(1) 携行することが望ましい医薬品

出張、旅行などで低地へ行くことを考慮し、蚊取り線香を持参するとよい。特に、マラリア流行地域へ行く場合は不可欠である。同様に、スプレー式殺虫剤や虫よけ (ムシペールなど)、必要に応じて抗マラリア剤、家庭用の医療本 (保健同人社発行の『ハンディ家庭の医学』など)、マスク、眼帯 (当地では入手不可能)、目薬などを持参するとよい。

(2) 任国で調達できる医薬品

たいていの医薬品は入手できるが、おおむね日本のものより作用が強い。処方せんなしで薬局で購入するときは、スペイン語で症状を詳しく伝えること (紙に書いていくとよい)。箱単位ではなく 1錠ずつ売られているので、服用方法や注意事項をよく確認すること。

一部、処方せんがなければ買えない医薬品もある。

(3) 任国で調達できる衛生用品

国産、輸入品ともおおむね入手可能である。救急ばんそうこうもある。

(4) 医薬品を使用する場合の留意点

医師の処方せんにより購入し、指示通りに服用することが望ましい。

4-4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

前述の Hospital Metropolitano か Clinica de La Mujer にかかることになる。

(2) 出産後の対応

一般に入院日数は短く、通常 2～3 日で退院する。希望すれば延長も可能である。

退院後は 2 週間ほど静養するのが一般的である。

(3) 育児

紙おむつ、哺乳瓶、粉ミルク、離乳食、ベビー石けん、ベビーパウダーなどは輸入品、国産品とも豊富にあり、スーパーなどで容易に購入できる。

気候の変化が激しいため、一時たりとも車の中に乳幼児を置いたまま離れてはならない。また、育児を家政婦／夫に任せきりにしないことが大切である。

4-5 手術

(1) 任国で可能な手術

ほとんど全科の手術が可能であり、手術水準は比較的高い。

(2) 手術設備の状況

邦人がよく利用している病院では日本と変わらない設備である。特に Hospital Metropolitano には最新の医療機器がそろっており、アメリカで研修を受けた技師や医師も多いので安心できる。入院設備も調っている。

(3) その他の留意点

輸血が必要なときは、やむを得ない事態を除き、邦人に依頼すること。

病室は個室が一般的で、タオル、石けん、トイレ、洗面所、ソファ付きである。パジャマ、スリッパ、洗面道具のみを持参すればよい。

完全看護のため入院時の付き添いは不要であるが、個室にはソファがあり、毛布を借りることもできるので、必要であれば泊まることは可能である。

病院食のメニューは、朝がコーヒーミルクとパン、昼と夕食はスープ、ジュース、ご飯、肉・野菜付きのメインディッシュと決まっている。いずれの病院もハーブティーをポットに入れてもってきてくれる。

支払いを済ませないと退院できないので、あらかじめ、どのくらいの費用になるかを確認して用意しておくこと。

4-6 任国でよくかかる傷病

(1) 一般の疾病

かぜ、食あたりなどが目立つ。

(2) 風土病・伝染病

コレラ (Colera)、腸チフス (Tifoidea)、黄熱病 (Fiebre Amarilla)、デング熱 (Dengue)、マラリア (Paludismo) などがしばしば流行する。また、狂犬病 (Rabia)、破傷風 (Tetanos) なども多い。

(3) 有害動物、病害虫

蚊 (Zancudos)、ゴキブリ (Cucarachas)、さそり (Escorpion)、のみ (Pulga) などが見られる。

4-7 保健衛生

(1) 飲料水

水道水を直接飲用しないこと。まず煮沸してから飲用するのが一般的である。キトは標高2860メートルの位置にあり、100℃以下の温度で沸騰するため5～10分間は煮沸したほうがよい。スーパーなどでミネラルウォーターが売られている。体調の悪いときなどは、それを用いたほうがよい。

高級レストランの多くはミネラルウォーターで氷をつくっているが、念のため氷抜きにしてもらったほうが安全である。

(2) 濾過器の入手

特に濾過器を必要とすることはないが、スーパーなどで売られており、容易に入手できる。地方への出張が多い場合はストロー式の濾過器を日本から持参するとよい。

(3) 蚊帳、防虫ネットの入手

該当情報なし。

(4) その他の留意点

キトは高地であるため、血圧の高い人、心臓、肝臓、消化器などの弱い人は、希薄な酸素に慣れるまで暴飲暴食、激しい運動、飲酒は控えること。わずかな飲食でもお腹が張る人が多い。また、小児は鼻血を出すなど高山病に似た症状を起こすことがある。気候に慣れてきたら、酸素をより多く体内にとり入れるため、適度のスポーツを心がけるとよい。また、ときどきは低地へ下りて休養することが望ましい。

街頭で自転車や台車で売りに出ているアイスクリームやかき氷、セビツェ (魚介類を簡単に調理したもの) は食べないほうがよい。

5. 教育

5-1 教育事情

(1) 一般事情

教育制度は日本と同様に初等教育 6 年間、中等教育 3 年間、高等教育 3 年間、大学教育（医学部 8 年、ほかは専攻分野により異なる）となっている。1990 年の調査によれば、初等教育修了者は全体の 50.9%、中高等教育修了者は 25.9%、大卒・大学院修了者は 8.5%、文盲率は 9.8%となっている。

公立学校は予算が少なく十分な教材が整備できないため、教育水準は高いとはいえない。富裕層の子弟は私立校に通学するのが一般的である。

キトでは 10 月に新学期が始まり、7 月初めに終わる。グアヤキル以外の海岸都市では 5 月に始まり翌年の 1 月に終わる。外国人学校は各学校で異なる。

(2) 日本人学校

キトには 1979 年 4 月 30 日に創立された全日制日本人学校がある。小学部と中学部があり、少人数教育を実施しており、レベルはかなり高い。カリキュラムは学習指導要領に準拠しているが、エクアドルに対する理解を深めるため、全学年が週 2 時間スペイン語を学習し、さらに中学部では英会話を週 1 時間学習している。

国際理解教育として、年 2 回以上現地校やインターナショナル校との交流会をもっている。また、学年に応じて市内、パン専門店、自動車工場、地層などの社会見学を実施している。

部活動は 5 年生以上が全員参加となり、週 1 時間実施している。部活内容はその年の人数により、サッカー、バレー、バスケットなどと種目が変わる。

Nihonjin Gakko Embajada del Japon（日本人学校）

所在地：Calle-E sin/numero Pusqui Pomasqui, Quito, Ecuador

電話：5932-561-899

FAX：5932-503-670

備考：当初はキト市内にあったが、敷地などの関係からキトより車で約 20 分の郊外に移転し

た。生徒数は 20 人弱、教員は文部省派遣教員 8 人、現地採用非常勤講師 4 人である

グアヤキルには補習授業校（TEL:593-4-389766）がある。

(3) 現地校、外国人学校

幼稚園を除き、現地校に在籍している邦人はいない。ほとんどの邦人子弟は下記の私立外国人学校へ入学している。

Colegio Americano (コレヒオ・アメリカノ、私立)

所在地: Urbanizacion Carcelen

電話: 538-947

備考: 小学校と中学校。国際部と国内部の二つに分かれており、国際部は英語で授業が行われている

コレヒオ・アレマン

備考: ドイツ系で小学校、中学校がある

コレヒオ・フランセス

備考: フランス系で小学校のみである

Academia Cotopaxi (アカデミア・コトパクシ、私立)

所在地: De Las Higuierillas y Alondras (Monteserrin), Quito, Ecuador

電話: 433-602、434-976、432-200

備考: アメリカ系で小学校(6歳~)から高校(~18歳)。男女共学。優秀な生徒には特別クラスを設け、欧米の大学へ進学できるよう教育している。現在、邦人は6名ほど在籍している

Academia Alianza Americana (アカデミア・アリアンサ、私立)

所在地: Villalengua 789 y 10 de Agosto Quito, Ecuador

電話: 240-142、466-985、467-384

備考: アメリカ系で小学校(5歳~)から高校(~18歳)。キリスト教教育で男女共学。特別教育(語学の特別クラス、ここで6カ月間の試験期間を経て適性コースへ進む)がある。現在邦人は10名ほど在籍している

(4) 幼稚園

邦人子弟のほとんどは現地幼稚園に入園している。私立の幼稚園は数多い。インターナショナル校にも付属幼稚園があり、欠員があれば入園できる。0~5歳を受け付けているところもある。現地幼稚園はスペイン語、他は英語で保育している。

主な幼稚園は次のとおりである。

Mi Pequeno Mozart (私立)

所在地: Manuel Maria Borrero 57 y Abel Gilbert

電話: 446-230

5-2 入学手続きおよび授業料

(1) 日本人学校

1995年の1人当たり入学金は120ドル、授業料は小学校100ドル、中学校115ドル、

その他にタクシーによる送迎費用が月約30ドル、年1回の保険料60ドル、施設費積立金が月30ドル、入学時の寄付金は1家族当たり小学部300ドル、中学部500ドル、その他PTA会費などが必要である。

(2) 現地校、外国人学校

<現地校>

入学に必要な書類は出生証明書、校長あての入学願書、写真、健康診断書、両親の結婚証明書である。入学試験がある。卒業にあたっては卒業試験を受け、最終学年までの成績表、卒業権利金が必要となる。

公立の授業料は無料であるが、学年ごとの入学金 (Matricura) は60ドル程度である。

私立では、学年ごとの入学金が30ドル程度、授業料が月に40～80ドル程度である。

<コレヒオ・アメリカノ>

入学金は200ドル程度、年間授業料は小学生約2200ドル、中学生低学年約2400ドル、高学年約2600ドル程度である。

<アカデミア・コトパクシ>

学年によっても異なるが、年間の授業料は小学生6000ドル程度、中学生7000ドル程度である。入学金は150ドル、寄付金は2500ドル、各学年在籍料が年100ドル程度である。

<アカデミア・アリアンサ>

入学金は25ドル、年間授業料は幼稚園が1325ドル、小学部が4750ドル、中学部が5025ドル、高等部が5450ドル程度である。

(3) 幼稚園

年間の費用は、施設や保育内容により400～1000ドルとさまざまである。新学期は10月から始まるが途中入園も可能である。

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

日本人学校内に図書室があり、所定の手続きをすれば一般邦人も利用できる。帰国時などに寄贈される古い書籍も多いが、蔵書数はかなりのものである。

当地の図書館は次のとおりである。

Banco Central del Ecuador (エクアドル中央銀行図書館)

所在地 : Av. Eloy Alfaro 1214 y Carlos Tobar

電話 : 568-961

De la Embajada Americana (アメリカ大使館図書館)

所在地 : Avs. 12 de Octubre y Patria

電 話 : 549-570

Casa de la Cultura (カサ・デ・ラ・クルトゥラ図書館)

所在地 : Av. 12 de Octubre

電 話 : 528-840

(2) スポーツ施設

日本人学校には校庭と体育館があり、テニス、バドミントン、サッカー、バスケットなどのスポーツが可能である。公立の施設ではディナデル (DINADER) と呼ばれるレクリエーションセンターがあり、あらゆるスポーツが可能である。その一画にあるピチンチャ陸上競技場では、毎年、日本人会主催で運動会が開催されている。

Direccion Nacional de Deportes y Recreacion (ディナデル)

所在地 : Calle Toledo 844

電 話 : 550-287

5-4 家庭学習

(1) 家庭教師

家庭教師から英語を学んでいる邦人子弟は多い。

(2) 通信教育

詳細は不明である。

(3) 携行したほうがよい家庭用学習教材

日本人学校でも参考書や問題集を用意しているが、小学校高学年から中学部の子弟は各自持参する場合が多い。

学校情報、各手続き、教科書などの詳細は下記に問い合わせるとよい。

海外子女教育振興財団 (ホームページ : <http://www.joes.or.jp>)

東京本部

住 所 : 〒 105-0000 東京都港区虎ノ門 1-21-17 虎ノ門NNビル 6階

電 話 : 03-3580-2521 (代表)

F A X : 03-3503-7238

E-mail : joes1@netforward.or.jp

関西分室

住 所 : 〒 530-0001 大阪市北区梅田 1-3-1-200 大阪駅前第一ビル 2階

電 話 : 06-6344-4318

F A X : 06-6344-4328

6. 家庭の使用人

6-1 一般事情

家政婦／夫などを雇用している家庭は多いが、不可欠というわけではない。通勤、住み込みの2形態があるが、最近は通勤が一般的である。通常、集合住宅にも一戸建てにも、台所に接して使用人の部屋が備わっている。

労働法により、すべての労働者には年間最低15日の休暇が与えられる。休暇は1回に連続してとることができる。

6-2 運転手

(1) 雇用

個人的に雇用している邦人は少ないが、安全のために雇用している人もいる。身元がしっかりしている人を雇用しないと後でトラブルのもとになる。したがって知人からの紹介によるのが無難である。

(2) 日常管理

雇用側で仕事を明確に定め、それを納得してもらうこと。時間にルーズであったり、私用で運転することがないように、最初にきちんとルールを取り決めておくことが大切である。運転日誌をつくり、行き先や走行距離の記録を義務づけること。また、報告させてもよい。

(3) 教育指導

問題点があれば冷静に話し合い、要望を理解してもらうように努める。仕返しされる可能性があるので、頭ごなしに叱りつけてはならない。紹介してもらった知人に相談してもよい。

(4) その他の留意点

運転手の給与は比較的低い。運転以外の仕事を依頼したときや、時間が遅くなったときにはチップを渡したり、お土産を渡すなどするとよい。常に人間関係を良好に保つことが肝要である。

6-3 家政婦／夫

(1) 仕事の人数と種類

多くの家庭では家政婦／夫を雇用している。独立家屋に住む人が少なく、複数の使用人の管理は大変であることから、給仕などは雇用していない。

家政婦／夫の仕事は掃除、洗濯、皿洗いが主であるが、余裕があれば料理、子守を頼む人も多い。

(2) 雇用

知人から紹介してもらおうのが一般的であるが、よい人が見あたらない場合は新聞広告などに頼らざるを得ない。身元は確かか、身分証明書や前の雇い主の推薦状などを持っているか、親・兄弟・親戚の所在地および彼らの職業などを聞いておくことよい。トラブルを防ぐため、契約書を交わすことが望ましい。

(3) 日常管理

<通勤の場合>

常勤とパートタイム的な勤務がある。一般に、常勤の場合は月～金曜日の週5日勤務で1日の労働時間は8時間とされている。土曜日に出勤する場合は午前中だけの勤務が多い。これは契約時に取り決めること。祝祭日については取り決めないことが多い。休んでもその分を給料から差し引くことは難しい。

当国は原則としてパートタイムは認めていないため、法律の規定もない。1日3～4時間の勤務でも毎日(月～金曜日)であれば労働省は常雇いと判断する。この場合、最低賃金は8万5000スクレ(約35ドル)となり、保険加入の対象となる(1995年現在)。一方、隔日勤務であれば1日8時間労働でも常雇いとは判断しにくい。1週間の労働合計時間が30時間以上になると保険の対象となるので注意すること。パートタイム的な雇用をする場合は、給与を1カ月ごとにまとめて支払うのではなく、そのつど現金で支払うほうがよい。その際、必ず領収証をとっておくこと。

勤務日の使用人の食事は雇用主の負担となる。

<住み込み>

保険加入、最低賃金の支払い、そのほか諸々の責任が生じるが、1日の労働時間の規定はない。通勤と同じく食事は雇用主の負担となる。労働法により2週間に1日の休みを利用して里帰りする人が多いが、実際には1日ではなく2～3日になるのが普通である。よく働いてくれる人には特別に2週間に2日の休みを与えている例もあるが、できれば契約時に取り決めることをすすめる。

<有給休暇 (Vacacion) >

1年以上働いた人には年間15日の有給休暇を与える。クリスマスや郷里の祭りの時期に休暇をあてることが多い。欠勤を有給休暇の15日から差し引くことはできず、その月の給料で調整しなければならない。また、土・日を有給休暇にあてることはできない。ただし、使用人側から有給休暇はいらないので土・日曜日は休ませてほしいとの希望があればそれに応えることは可能である。いずれの場合も契約書に明記することをすすめる。労働法では以下の場合を除き、連続して15日間の年次休暇(土・日

曜日、祭日を含む)をとる権利が保証されている。

- ① 同じ雇用主の下で5年以上働いている人は、6年目より1年ごとに1日ずつ休暇が増える(最高15日まで。つまり合計30日間)。雇用主は実際に休暇を増やすか、追加休暇日数に相当する報酬を渡すかを選択できる。
- ② 使用人が16歳以下の場合は20日間の年次休暇が与えられる。
- ③ 使用人が16歳以上18歳未満の場合は18日間の年次休暇がとれる。
- ④ 出産時は出産の2週間前から産後6週間まで、社会保険庁(IESS)の医師の証明があれば有給休暇が与えられる。この8週間を過ぎると無給休暇になるが、休み始めてから1年以内は辞めさせることはできない。辞めさせる場合は、1年分の給料を支払わなければならない。妊娠したことを理由に辞めさせる場合も同様である。契約時に妊娠しているか否かもチェックしたほうがよい。

<試用期間>

保険加入対象(常雇い)の場合は、働き始めてから15日以内ならば、雇用主および使用人のいずれからでも、3日前の通知で自由に辞めさせたり辞めたりすることができる。

<契約期間>

特に期間を取り決めなければ期限なしと了解される。取り決める場合は原則として最長1年であり、1年以上の契約をする場合は労働裁判官の許可が必要である。書類を交わした契約は期限前には解除できない。もし解除すると無通知解雇となり、1年分の給与を余計に支払わなければならない。契約期間が残り2~3カ月ならば、使用人の同意のもとに期限まで働いたこととして精算する方法もある。契約期間が何カ月も残っている場合は、使用人の意思で辞める形をとり、使用人にはそれなりの謝礼を出さなければならない。いずれにしても、期間を定めた労働契約は弁護士を介して結んだほうがよい。

<給料>

使用人が保険加入対象者の場合、雇用主には最低賃金以外に以下の責務がある。

- ① 13カ月目の給料(ボーナス1と考える)を12月24日までに支払う(実質上は12月31日締め)。対象期間は支払う期日より過去1年間で、その間の給与合計を12で割った額である。たとえば、給料8万5000スクレで8カ月間勤務している場合は $8万5000 \times 8 \div 12 = 5万6700$ スクレとなる。パートタイムの場合は13カ月目の給料を支払うとフルタイムとみなされてしまうので、クリスマスプレゼントなどの贈り物をしたほうがよい。

- ② 14カ月目の給料（ボーナス2と考える）は9月15日までに支払う。対象期間は支払う期日より過去1年間で、最低賃金の2倍が基準となる。たとえば8カ月働いている場合は $8万5000 \times 2 \times 8 \div 12 = 11万3400$ スクレ支払うことになる。
- ③ 15カ月目の給料（ボーナス3と考える）は3月31日締めで、4月15日までに支払う。給料6000スクレまでは100%で、6000スクレを超えた分は40%の支払いとなり、最高支払い額は5万スクレまでである。
- ④ 1年以上働いた人に退職積立金（Fondo de Reserva）を支払う。勤続1年目から雇い主は給与の1カ月分（過去1年間の平均）を毎年IESSに納める（6月30日締め、9月30日までに）。たとえば1998年1月1日から99年6月30日まで勤めた人の場合、平均給与が1万7000スクレならば $1万7000 \times (18 - 12) \div 12 = 8500$ スクレを納めることになる。これはIESSに納めるもので、使用人に直接渡しても無効である。なんらかの理由でIESSに加入していない人には、直接雇用主から本人へ支払うことになっている。
- ⑤ 補填賞与として、9月と12月を除き、毎月1200スクレを支払う（年間で1万2000スクレ）。
- ⑥ 生活補助費として毎月1500スクレを支払う（年間で1万8000スクレ）。
- ⑦ 家庭の使用人の場合、交通費は実費を支給するのが一般的である。
- ⑧ 保険、社会保障費を支払う。住み込みでも通勤でも、保険加入の対象とみなされる使用人は加入しなければならない。保険料率は雇い主が9.85%、使用人が9.35%の負担となっている。中には保険に加入しなくてもよいという使用人もいるが、訴えられた場合、雇い主は使用人の9.35%と合わせて19.20%、さらに滞納の罰金も支払わされるので注意が必要である。加入の条件として身分証明書が必要である。持っていない場合は身分証明書を取得するまで給料より差し引いて雇い主が預かっておくことになる。

<解雇>

政府はほぼ毎年一律にベースアップ法を公布し、同時に解雇禁止令も公布する。期限なし契約の場合、解雇には次のようなケースがある。

- ① 当事者間の合意による場合は、最後に支給する給与の領収証または別紙に *Salgovoluntariamente de la familia*（自分の意思で辞めるということ）と日付と氏名のサインをとっておくとよい。
- ② 通知解雇（Desahucio）。どうしても合意に至らない場合は、解雇する1カ月

前までに労働省に解雇通知を出し、労働省立会いの下に解雇することになる。使用人とともに労働省に呼び出しを受ける。すべての領収証の提示を求められ、実質賃金の支払いをすべてチェックされる。給与1年分に、勤務年数1年につき最終給与額の25%を加算して支払う。

③ 無通知解雇 (Despido Intempestivo)。

合意もなければ、労働省にも通知しないで解雇することである。訴えられた場合は、前述の通知解雇の際の支払い額に勤務年数2年未満の場合は最終給与2カ月分、2～5年未満の場合は最終給与4カ月分、5～20年の場合は最終給与6カ月分を加算して支払うことになる。期限付き契約の場合、解雇には次のようなケースがある。

① 契約日満了による解雇。契約満了より最低15日前に雇用主から使用人に契約を更新しない旨通知する。この通知は労働監査官 (Inspector de Trabajo) 経由で行い、15日間を使用人の就職活動に使用するとよい。

② Visto Bueno。盗癖などを理由に契約期間中に辞めさせることは、当国では法律違反である。正式には労働省に解雇を申請し、労働省の認可 (Visto Bueno) がなければ、理由のいかんを問わず解雇できない。Visto Buenoをとつても、通知解雇と同じ精算方法 (最終給与額の25%は除く) がとられる。この手続きには、証拠、証人、盗みの場合は警察証明が必要なので、弁護士を介さなければ困難である。また、Visto Buenoが出るまで1カ月以上を要することもある。何度も労働省へ足を運ぶことや弁護士費用を考えれば、すすめられる方法ではない。また、Visto Buenoが出なければ、Visto Bueno申請中は働いても働かなくても給料を支払う義務があるので申請した意味がなくなってしまう。

上記のようにエクアドルの法律は労働者を優遇・保護しているため、できるだけ期限付き雇用契約を結ぶこと。契約書には試用期間を3カ月設けること、雇用主が転勤の際は3カ月前に契約破棄する旨を通告することができ、その場合は数カ月分の給与を特別手当として支払うなどの旨を盛り込むことが望ましい。

書面を取り交わさないと、労働省で期限なし契約と見なされ、解雇の際に多額の特別手当などを支払う必要が出てくるので注意すること。なお、スペイン語に自信がない場合は、スペイン語の堪能な邦人または大使館、またはその弁護士を介して契約することをすすめる。

当地の家政婦／夫は日本とは意味合いが違うので注意すること。以下のような行為はタブーとなっており、使用人に誤解 (家族の一員すなわち同等の立場に昇格したと

思う)を招きやすいので慎むこと。

- ・家族と同じテーブルで食事をさせること。
- ・応接間や家族の座る席に座らせる。
- ・家族および来客用の洗面所を使用させる。
- ・レストランなどで同じテーブルに座らせる。

6-4 庭師、ガードマンなどの雇用

集合住宅が一般的であるため、庭師を雇う習慣はない。

7. 交通事情

7-1 交通手段

(1) 一般事情

公共交通機関は整っているとはいいがたい。市内には私営バスが運行しており、交差点などで手を挙げれば乗車できる。ただし完全に停車するわけではなく、速度を緩めてくれるだけなので乗降は非常に危険である。キト市内には一般バス、2階建てバス、2連バスがあるが、いずれも運行ルートを把握するのは困難で慣れるまでは利用しにくい。また、車内ではスリなどが多発している所以要注意である。

タクシーは黄色い乗用車で市内を流しており、相乗りはない。キト市内およびグアヤキル市内のタクシーはメーター制であるが、時間制のメータなので渋滞に巻き込まれると高くなる。その他の都市のタクシーにはメーターがないため、乗車前に料金交渉する必要がある。タクシー運転手の多くはスペイン語のみ会話可能である。

鉄道はキト～リオバンバ間を観光用車両が運行しているだけで、通常の交通手段としては使われていない。

飛行機はキト～グアヤキル間を毎日数便運航している。ほかに、キトおよびグアヤキルとクエンカ、トゥルカン、ロハ、エスメラルダス、マンタ、ポルトビエホ、ガラパゴス、ラゴ・アグリオ、コカ、マッカスへも運航している。手頃な運賃なので地方へ出かける際に便利である。

(2) 自家用車を利用する場合

日本とは逆に左ハンドル、右側通行である。市内は一方通行 (Una Via) が多い。

サイドミラーがない車、ブレーキ・ランプがつかない車なども走っているので注意すること。運転マナーは非常に悪く、特にバスは車線変更はもちろん、右左折のときでも方向指示器を出さないことが多い。

路面は、穴があいたままになっていたり、マンホールの蓋がないところもあるので注意が必要である。

各場所で交通検問があり、身分証明書、運転免許証、自動車登録証（運転免許証と同サイズ）は必携である。特に、身分証明書は自動車運転時以外にも常に携帯することが必要であり、場合によっては不携帯で留置されることもあるので注意すること。

その他の注意事項は次のとおりである。

- 1) 尾行車の有無に注意すること。尾行を感知したら、安全な場所に停車して様子を見る。可能ならば経路の変更、Uターンなどで相手をまくとよい。
 - 2) なるべく中央車線を走り、渋滞道路、事故発生現場、デモなどの集会地は回避すること。
 - 3) ドアは必ずロックし、窓は大きく開けないこと。
 - 4) ヒッチハイカーなどを乗せないこと。道路を塞いで車を止めようとしている場合は、Uターンして高速で逃げる。
 - 5) 走行中のみならず、短時間の駐車の際も必ずドアロックすること。
 - 6) 信号などで一時停車する場合は、ギアを第1速に入れておき、即発進できる状態にしておくこと。また、前との車間距離を保持しておくこと。
 - 7) 人気のない道はなるべく避けること。用のない区域には立ち寄らないこと。
 - 8) 乗車前には必ず車の内部、車台の下を点検し、不審物、ひも、導線などの有無を確認して爆発物がないことを確かめること。もし疑わしいものが見つかった場合は、手を触れずに警察（TEL：101）へ届けること。
- (3) レンタカーなどを利用する場合

邦人がレンタカーを利用することは少ないが、扱っている業者は次のとおりである。

Avis Rent A Car

所在地：Avs. Colon 1741 y 10 de Agosto

電話：550-238、550-243

Dollar Rent A Car

所在地：Av. 10 de Agosto 6398 La "Y"

電話：430-777

Ecuacars

所在地：Av. Colon 1280 y Amazonas

電話：529-781

Budget Rent A Car

所在地 : Colon 1140 y Juan Leon Mera

電話 : 548-388

(4) 道路地図

特に道路地図といったものはないが、小冊子タイプのエクアドル全国地図、キト、グアヤキル、クエンカなどの大都市の地域地図が書店、スーパーなどで売られている。

7-2 交通事故

(1) 対処方法

事故を起こした場合は保険会社に連絡し、その弁護士に処理してもらうのがよい。さらに、状況に応じて大使館、カウンターパート、友人などに連絡して協力を求めるのが得策である。緊急時の連絡先はいつでもわかるようにしておくこと。

(2) 救急病院

4-2 医療事情を参照のこと。

(3) 盗難

ラジオ、ステレオ、タイヤなどはもちろんのこと、車両本体の盗難も多い。盗難後の悪用を防止するため、車中には住所などがわかるものは極力置かないこと。

防犯対策として、アラームの設置、車中にカバン、コンピュータなど目立つものを残さない、通りに長時間放置しないことなどが挙げられる。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

右側通行である。市内はアベニダ (avenida = 大通り) を除けば一方通行が多い。キト市内の信号のない交差点では、アベニダがカジェ (Calle = 狭い道路) より優先である。アベニダ同士、カジェ同士では、南北方向が東西方向よりも優先する。また、ロータリーのある交差点では、ロータリー内の車が優先する。

一方通行でも、逆方向からの進入車が多いので注意すること。

市街、郊外ともに制限速度の標識はほとんど見られないが、道路に突然穴があいていたり、大きな石が転がっているので高速運転には十分注意すること。

主な交通標識は次のとおりである。

「パレ (PARE)」	止まれ
「ウナ・ピア (UNA VIA)」	一方通行
「ドブレ・ピア (DOBLE VIA)」	両通行

上記以外の標識の多くは、絵で意味を理解することができる。

横断歩道はほとんどないので、歩行時は注意すること。信号のある交差点では、進行方向が青であっても、右左折してくる車に注意すること。常に、人よりも車優先であると考えて歩行するとよい。

(2) 対処方法

スピード違反などの取り締まりはほとんどないが、運転免許証の不所持で身分証明書を取られたり、駐車違反でステッカーを貼られることがある。その場合は警察へ出向いて手続きをし、罰金を支払わなければならない。罰金は1～5ドルと微々たるものであるが、免許証は必ず携帯すること。

7-4 車の修理

(1) 部品

一般的な部品はそろっているが、オートマチック車は台数が少ないため、該当部品の入手は難しい。

(2) 修理工場

信頼できる工場（勤務先や大使館などで利用しているなど）を選んで修理に出すこと。一般に、トヨタ、日産、マツダなどの日本メーカーまたは当地組立の車種は各専用整備工場があるので修理可能である。技術レベルはおおむね満足できる。

修理に出す際は、車中の工具セットやカセットテープなどを置いたままにしないこと。また、問題のない部品を中古部品と交換されてしまうケースがあるため、できれば修理には立ち会ったほうがよい。

8. 通信

8-1 電話

(1) 一般事情

公衆電話はないに等しく、エクアドル電気通信公社（EMETEL）の電話局（長距離通話可能）および空港に設置されている程度である。ホテル、レストラン、街頭の売店に設置されている一般電話を使わせてもらうことはできる。

電話の普及率は低く、回線数もまだ少ないため、住宅を探すときは電話付きの物件を選ぶこと。

(2) 国内電話

市内通話については特に問題はない。しかし、アンバットやクエンカなどの地方都

市と通信する場合には、回線容量不足のためつながるまでにかなりの時間を要することがある。市内の通話料金は、最初の3分間までが500スクレ（約20円）で、その後1分ごとに100スクレが加算される。

(3) 国際電話

昼夜を問わず全世界と通話が可能であり、日本との通話状態も良好である（エクアドルから見て－14時間の時差を考慮すること）。一部の地域では直通国際発信（DDI：6桁の数字の頭が4で始まる電話番号）が可能なので、頻繁に国際電話を利用する人は住宅選定時にDDIに変更可能か否かを確認するとよい。

料金は1995年9月現在、3分間3万4800スクレ（約14ドル）で、その後1分ごとに8700スクレが加算される。サービスタイムは19～8時までで、最初の3分間は2万8400スクレである。なお、DDIが使えない場合は電話公社（エメテル）の117もしくは116に国際電話を申し込み、交換手を通すことになる。

日本からキト市へは、「001-593（エクアドル）-2（キト市）-6桁番号」となる。グアヤキル市の場合は市外コードが04であるから、「001-593-4-6桁番号」となる。

エクアドルから日本へは、00-81（日本）-頭の0を除いた市外局番-相手先番号をダイヤルする。たとえば、東京の03地域にかける場合は「00-81-3-××××-××××」となる。

(4) 携帯電話

該当情報なし。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

ファクシミリの設置は全体的にはまだ少ないが、事業所や邦人家庭では設置数が増えている。また、大使館、JICA/JOCV事務所で利用させてもらうこともできる。

(2) テレックス

JICAからの緊急連絡は、大使館のテレックスを利用して受信することになる。

(3) 電報

国際電報はあまり一般的ではない。

(4) インターネット

該当情報なし。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便事情は極めて悪く、エクアドルから日本へ封書を発送した場合は、届くまでに

10～15日、日本からは15～30日を要する。小包の場合はさらに1週間ほどかかることもある。戸別配達サービスはあまり正確でないため、私書箱（Casilla）を郵便局に開設するか、すでに私書箱を開設しているマンション、アパートなどに入居するか、大使館あてにして定期的に取りに行くかのいずれかの方法をとるのがよい。

郵便小包、書留郵便を受け取るには、通知書（私書箱に届く）および身分証明書（またはパスポート。コピー可）を持って、通知書に指定された郵便局へ出向くことになる。小包は本人立ち会いのもとで税関員に開封され、内容に応じた税金を支払って（郵便局内の売店で収入印紙を購入する）引き取る。日本からの郵便物のあて先は、JICA派遣専門家の場合は大使館で個人用の連絡箱を用意してもらい、大使館気付にしておくとう便利である。

1キログラムを超える小包は、すべて中央郵便局で受け取ることになる。本人立ち会いの下で荷物を開封され、内容に応じた税額などを記載した書類を受け取る。それを中央銀行に持参して支払いを済ませ、その領収証を再び郵便局へ持参して荷物を引き取る。中央銀行には駐車スペースがないため、タクシーなどを利用するとよい。

書籍などの印刷物は、封の一部を切って印刷物扱い（Impresos）で送れば、手紙と同様に私書箱に届けられる。

(2) 課税

原則的に食料品の輸入は禁止されているため、食料品についてはかなり高い税金を要求されることがある。できれば1キログラム未満に分割して一般郵便物として送ってもらうとよい。

(3) 民間サービス業者

料金は高いが、重要なものや急を要するものはDHL、OCS便などの宅配業者を利用したほうがよい。キトには日本大使館の近くにDHLの事務所がある。

OCS Quito Office

Manager: M. A. Matsumoto

所在地 : c/o Yacon del Ecuador C. Ltda., Av. America 4795 Y Naciones Unidas,

Edificio Izurieta Primer Piso, Suite No.2 Quito

電話 : 2-438-953

FAX : 2-257-647

OCS Guayaquil Office

Manager: Mr. Teruyoshi Ueyama

所在地 : Garcia Aviles 408 Y Luque, 5F Office No.504, Guayaquil

電 話 : 4-511448、513841

F A X : 4-511450

海外新聞普及協会 (OCS)

所在地 : 〒 108-0023 東京都港区芝浦 2 - 9

電 話 : 03-3453-8311

F A X : 03-3453-8329

9. マスコミ

9-1 新聞

(1) 主な日刊紙

主な日刊紙として『Hoy (オイ)』、『El Comercio (エル・コメルシオ)』がある。宅配サービスのほか、街頭でも販売されている。1995年9月現在、値段は1部350～500スクレであるが、年間購読にすると少し安くなる。エル・コメルシオの情報提供および宅配を頼む場合は下記に連絡するとよい。

El Comercio-Administracion y Talleres

所在地 : Av. Pedro Vicente Maldonado 11515

電 話 : 670-999、679-999、宅配連絡所 526-154

(2) 本邦日刊紙

衛星版による本邦日刊紙には『朝日新聞』と『日本経済新聞』がある。OCSの宅配サービスがあり、1～2日遅れで入手できる。料金は『朝日新聞』が月額133ドル、『日本経済新聞』が月額147ドルである。邦人が経営するOCSに申し込むとすぐに宅配される。ここでは日本で発行される新刊書も扱っており、確実に早く入手することが可能である。OCSの連絡先は前記「8-3 (3) 民間サービス業者」を参照のこと。

(3) 欧米紙

キトのHotel Colon Internacionalの1階には新聞閲覧室があり、『朝日新聞』など主要各国の新聞を無料で読むことができる。

9-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

多くのAM局、FM局があり、ニュース、音楽(ラテン、ポップス、クラシック)、スポーツ番組などを放送している。主な放送局には次のものがある。

- 1) AM 720 キロヘルツ…ラディオ・ムニシパル (市民放送)

- 2) AM 760 キロヘルツ…ラディオ・アンデス
- 3) FM 89.3 メガヘルツ…HCJB (クリスチャン放送)
- 4) FM 92.9 メガヘルツ…ラディオ・コルデジェラ (Radio Cordillera)

(2) ラジオジャパン

フランス領ギアナのモンシネリ送信所発信の放送がよく受信できる。同一周波数で日本語で21～22時、英語で22～22時30分、スペイン語で22時30分～23時に毎日放送している。中米向けは11.85メガヘルツ(25メーターバンド)、南米向けは15.35メガヘルツ(19メーターバンド)であるが、キトでは11.85メガヘルツのほうが受信状態がよい。なお、周波数は年に数回変更することがあるので、NHKの放送番組表で確認すること。番組表は大使館でも見ることができる。

NHK国際局編成部

住所：〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話：03-3465-1111

番組表を含む情報提供サービス

<http://www.nhk.or.jp/rjnet/index-j.html>

また、日本語放送の周波数表をFAXで受け取ることもできる。

FAXサービス番号：03-5454-0888 情報番号260

短波ラジオに付いているロッドアンテナでも聴くことができるが、10～15メートルほどのアンテナ(導線)を窓側に張り、一方の端を短波ラジオのロッドアンテナに巻き付けると、より良好な状態で受信できる。

(3) 聴取可能なその他の外国放送

当地から日本に向けて日本語短波放送「アンデスの声(HCJB)」を送信しており、当地でも受信できる。放送時間は朝6時30分～7時、周波数は9.415メガヘルツである。赴任前に日本でも受信してみることをすすめる。日本時間では20時30分～21時で、10メートルほどの導線を短波ラジオのロッドアンテナに巻き付けるとよい。

そのほか、BBC、VOA、アラビア放送なども聴くことができる。

エクアドルの乾電池は寿命が短いので、短波ラジオとともにラジオに合ったアダプタ(交流を直流に直す電圧変換器)の持参をすすめる。エクアドルは交流120ボルトであるが、アダプタなどは日本の交流100ボルト用のものでも使用可能である。

(4) ライセンス料金など

該当情報なし。

9-3 テレビ

(1) テレビ放送局

キトでは2、4、5、8、10、13チャンネルの6局が開設されており、すべてカラー放送である。日本や中国などの映画、ドキュメンタリーなども放送されている。また、日本のアニメもスペイン語で放送されている。

ケーブルテレビに加入するとCNN、ABC、CBNなどのアメリカのテレビ番組を中心に15～40のプログラムを鮮明な画像で24時間観ることができる。下記に連絡すると係員が契約に出向いてくれる。

TV Cable (テービーカブレ)

所在地：Paul Rivet 142 y Ernesto Novoa Caamano

電話：221-953、222-512

料金：40、31、24、15チャンネルから選択する。チャンネル数によって料金は異なり月額5～30ドルである。最初の据え付け料は20ドル程度である

(2) テレビ受信

キトでは屋外アンテナを設置している家は少なく、ほとんどがテレビ受像機に付属したロッドアンテナを用いているため、鮮明に映らないところが多い。

放送方式は日本と同じNTSC (M) 方式であるが、無線周波数帯が異なるため、日本のテレビ受像機をそのまま使用することは不可能である。当地仕様の松下、ソニー製のテレビ受像機、ビデオデッキは手頃な価格で購入できる。トランスを付けたり、運送料などを考慮すると当地で購入したほうがよい。家電製品を安く販売している店は次のとおりである。

SONY (ソニー)

所在地：AV. 6 de Diciembre 6369 y Rio Coca

電話：250-214、453-143

BAZAR VIDEO (バサール・ビデオ)

所在地：Yaupi 140 (Av. America y Av. Mariana de Jesus)

10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

10-1 映画、演劇

(1) 映画館

映画観賞は庶民の主な娯楽であり、キト市内にはたくさんの映画館がある。上映し

ているのはアメリカ、メキシコ、アルゼンティン、フランス、イタリア、香港などの作品である。外国語の映画にはスペイン語の字幕が出る。作品の内容によって12歳、15歳、18歳、21歳以上などの制限を設けている。料金は2～3ドル程度である。

営業は14時30分頃からが一般的である。

(2) 劇場

キト市内ではセントロ地区に国立スークレ劇場 (Teatro Nacional Sucre) があり、音楽会、バレエ、民族舞踊など各種催し物が行われている。ただし、文化的な催しはグアヤキルのほうが盛んに行われている。

10-2 出版、書籍

(1) 一般事情

アメリカ、スペインなどの主要な雑誌は、書店、ホテル内の売店などで購入できる。一般に専門書は入手困難であるが、大きな書店では若干扱っている。日本の雑誌、定期刊行物などはOCSを通じて送ってもらうか、印刷物扱いとして郵送してもらうことになる。

任国外旅行などに用いる各国のガイドブックなどは、赴任時に持参したほうがよい。

(2) 書店

週刊誌や子供向けの書籍を扱っている書店は多い。専門書などは次の大きな書店でのみ入手可能である。

Librimundi(リブリムンディ)

所在地：Juan leon mera 851

電話：234-791

Tecnilibro(テクニibro)

所在地：Av. Patria 850 y Av.10 de Agosto

電話：521-076

Cientifica Centro(センティフィカ・セントロ)

所在地：Garcia Moreno y Mejia

電話：216-528

Cima(シイマ)

所在地：Ibarra 200 y Av.10 de Agosto

電話：571-318

10-3 語学学習

(1) 語学学習施設

邦人がよく利用している語学学習機関として、キトにある私立カトリカ大学のスペイン語コースがある。6コースあり、各コースとも月～木曜日の9時～12時15分と夜間の特別コースがある。コースは9月下旬から1月上旬までの80時間であり、1995年現在、1コース当たり112万スクレ程度（約450ドル）である。

Universidad Catolica(カトリカ大学)

所在地：Av. 12 de Octubre y Robles

電話：529-270

また、エスクエラ・ガラパゴス校もあり、週1～5回、午前、午後の部と自由に選択できるので便利である。料金は1時間当たり3.5ドルと手頃なため、多くの外国人でにぎわっている。

Escuela Galapagos（エスクエラ・ガラパゴス）

所在地：Av. Amazonas

電話：220-939、540-164

(2) 家庭教師

カトリカ大学のスペイン語講師は家庭教師も行っており、1時間当たり8～10ドル程度である。また、エスクエラ・ガラパゴスの講師も1時間当たり5～7ドルで出向いてくれる（1995年現在）。

10-4 文化活動、文化施設

(1) 一般事情

文化施設は一般に小規模であるが、数は比較的多い。エクアドル人と外国人では入場料金が違うので、長期滞在者は当地の身分証明書（Carnet）を持参するとよい。カロリーナ公園（Parque Carolina）、中央銀行博物館（Museo Arqueologico del Banco Central）、文化会館（Museo de La Casa de la Cultura）などで各種催し物が開催されている。また、国立スークレ劇場（Teatro Nacional Sucre）では音楽会、民族音楽・舞踊が定期的に行われており、多くの観光客でにぎわっている。

Parque Carolina（カロリーナ公園）

備考：キト新市街の中央にある大きな公園。花展、コンピュータ機器展、農機具展、サーカスなどが催されている

Museo Arqueologico del Banco Central（中央銀行博物館）

所在地：Av. 12 de Octubre y Patria

電 話：566-070

備 考：エクアドルを代表する文化会館。インカの歴史（BC4000年～AC1533年）に興味のある人には強くすすめられる。火～金曜日は9～17時、土、日曜日は10時30分～15時に開館している

Museo de La Casa de la Cultura （文化会館）

所在地：Av. 12 de Octubre y Patria

電 話：212-297

備 考：中央銀行博物館と同じ場所。火～金曜日は9時～12時30分、15時～18時30分、土、日曜日は9～16時に開館している

グアヤサミン博物館（Museo Guyasamin）

所在地：Jose Bosmediano 543

電 話：452-938

備 考：エクアドルを代表する芸術家、グアヤサミン氏の美術品を展示している。開館は月～金曜日の9時30分～13時、15時～18時30分、土曜日の9時30分～13時である。英語によるガイドがある

Museo de Ciencias Naturales de la Casa de la Cultura （自然科学博物館）

所在地：Parque la Carolina, Av. de los Shyris y Republica de El Salvador

電 話：449-824

備 考：カロリーナ公園の中にあり、珍しい動植物や化石などが集められている

Teatro Nacional Sucre （国立スークレ劇場）

所在地：Flores y Manabi

電 話：211-644、216-668

備 考：旧市街にあるのでタクシーで行くことになる。毎週2回、水・金曜日、夜19時頃からハクチュア（JACCHUA）と呼ばれる民族舞踊の公演が催され、観光客でにぎわう。料金は10ドル程度である。音楽会も行われている

(2) 日本友好協会などの有無と活動内容

エクアドル在留邦人は全国で250～300人程度と少なく、移住者もわずかである。

日本人会が組織されており、キトでは日本人会大運動会、サント・ドミンゴではソフトボール大会、12月には日本人会総会および忘年会が行われる。そのほか、ゴルフ大会、テニス大会、サッカー大会、ファミリー・ハイキングなど催し物が多い。婦人部があり班構成されているが、歌声サークル、料理サークル、ヨガサークルなどは班を越えて活動している。JICA派遣専門家は、着任後、大使館を通して日本人会に入会

することが望ましい。

(3) その他の文化活動、文化施設

該当情報なし。

10-5 写真、ビデオ

(1) 写真

コダック、フジ、サクラ、スコッチなどのフィルムが安く入手できるので、特に日本から持参する必要はない。現像・引き伸ばしなども1日で仕上がる。プリントのサイズは日本のサービス版よりも大きい。ネガは普通のビニール袋に入れてあるので、必要であればネガ専用の保存ケースを持参したほうがよい。

ビデオカメラ、カメラ用電池、レンズクリーナーなどの付属品も日本から持参したほうがよい。日本製のカメラは当地でも入手できるが、数、種類とも限られ、また割高である。カメラ、時計などは成田空港やロサンゼルス空港などで免税品を購入するのも方法である。時計の電池は赴任前に交換しておくとうよい。

(2) ビデオセット

ビデオは日本と同じNTSC (M) 方式であるが、テレビ受像機に接続する周波数は異なる。ビデオデッキは当地で比較的安価に入手できるので運賃をかけて日本から持参するより当地で購入することをすすめる。

(3) 各種テープ

ビデオテープにはVHSとベータの両方がある。邦人にはVHSが多く利用され、お互いに交換し合っている。市内にはビデオクラブも多数ある。

録画済みビデオテープなどの受け取りについては、録画内容のチェックなどはなく、特に問題はない。ただし、「8-3 郵便」の項で述べたように1箱1キログラム以内にしたほうがよい。当地で撮影したものをDHLや郵便で日本へ送ることもできる。

10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

(1) 音楽会、コンサート

音楽会は、前述の国立スークレ劇場でときどき開催されている。音楽会、コーラスなどの開催情報は新聞に載っている。

ペーニャと呼ばれる生演奏が楽しめるレストランが何軒もあり、民族音楽を聴くことができる。また、ホテルではときどきディナーショーなどを催している。高級レストランには流しのグループが演奏しているところもある。

(2) コーラス、演奏グループ

該当情報なし。

(3) ピアノなど

該当情報なし。

(4) CD、レコードなど

市内に多数あるレコード店で、各種ミュージックテープを安く入手することができる。アメリカで流行しているポップスをはじめ、エクアドル音楽、サルサ、クンビア、フォルクローレなどのラテン音楽、クラシックなどがあり、CDも豊富に売られている。価格は日本よりも安い。レコード店はエル・ボスケの商店街の中などにある。邦楽は扱っていないため、持参するか送ってもらうことになる。

カセットデッキ、ラジカセ、CDプレーヤーなどは、手頃な価格で入手可能であるが、保証期間を明記した一流店で購入したほうがよい。

(5) 民族楽器

ケーナ、チャランゴなどの民族楽器は手頃な価格で入手できる。

(6) その他の楽器

当地の人とのパーティー（フィエスタ）などで、音楽の演奏やダンスを楽しむ機会は多い。ギター、ハーモニカ、笛など楽器の演奏ができる人は、日本の音楽を紹介すると喜ばれる。

10-7 手芸、絵画、美術工芸など

(1) 手芸

オタバロ族のオタバロ織などが有名である。また、マンタの近くでつくられているパナマ帽なども有名である。

(2) 絵画、美術工芸

絵画は日曜日のエヒド公園（Parque el Ejido）などで売られている。

美術工芸品として、木彫の置物、皮工芸品などがある。いずれも自ら手がけている邦人は少ない。

10-8 趣味

(1) 園芸

エル・ボスケの商店街、メルカード・イナキト、国連通り（AV. Naciones Unidas）には鉢植えの植物が売られている。また、郊外に多数茂っているランを自宅に持ち帰って栽培している邦人もいる。

(2) 釣り

当地の人も邦人も、キト郊外の湖でマス釣りを楽しんでいる。良質の釣竿などはないため、日本からリール付きの釣竿を持参したほうがよい。

10-9 娯楽、遊戯など

(1) 娯楽、遊戯、ゲーム

闘牛やサッカー観戦が盛んである。邦人間ではマージャン、囲碁、将棋、トランプなども行われている。トランプにはクアレンタ（40 という意味）やテレフンケンなど、日本で知られていない遊び方がある。市内にはゲームセンターがあり、カジノはホテルなどに開設されている。ファミコンはまだ一般的ではないがATARIなどはある。麻雀、囲碁、将棋、花札、すごろくなどは当地では入手不可能である。

(2) レジャーランド、遊園地

キト、グアヤキルでは年に2回（1回約1カ月間）ぐらい、アメリカ、メキシコ、イタリアなどのサーカスの興行がある。安価な入場料で楽しめる。小屋周辺の屋台で売られている食品は安全とはいえないため、子供のお菓子や飲み物は持参することをすすめる。

10-10 スポーツ

(1) テニス

多くの邦人はキト・テニス・ゴルフ・クラブ（Quito tenis y golf club、「(4) スポーツクラブなど」参照）を利用している。会員制で、1995年9月現在の入会金は5000ドルである。退会時に入会金は戻らない。家族の有無に関係なく月会費は400ドルである。入会申込書には会員2人および職場上長の署名が必要である。クラブ内にはサウナ、美容院、テニスコート、ゴルフコース、ゴルフ練習場、小プール、卓球設備、レストランなどがあり、コーチも受けられる。ただし、最近は入会制限をしているため入会は難しい。

邦人間では日本人学校の校庭を利用して、テニススクールなどを開いている。

(2) 水泳

キトから飛行機や自動車を利用して、マンタやエスメラルダスへ海水浴に行く人が多い。キトは標高2860メートルの高地にあるため、定期的に低地へ下りて保養することが健康上望ましい。マンタは海産物も豊富で手頃である。マンタのホテル・インペリアルは海水浴場（砂浜）に面しており、プール、テニス設備（貸ラケットがある）などもある。

グアヤキルからではサリーナスやマチャラへ行く人が多い。

邦人が気に入るデザインは少ないので、水着などは持参したほうがよい。ビーチボールはあるが、浮輪は入手困難である。

赤道下の海岸なので日差しが強い。サンオイル、日焼け止めクリームは主にアメリカ

カ製品が入手可能である。蚊取り線香や虫よけ(ムシペールなど)を持参するとよい。どの海水浴場も空いているので、海岸でフリスビー、バドミントンなどをすることができる。ただし、現金、身分証明書、カメラなどの盗難には十分注意すること。

(3) その他のスポーツ、用具、ウエア

日本人学校の体育館では邦人間でバドミントンスクールが開催されている。

サッカーは非常に盛んである。キトは高地であるため、体力面を考慮して自らプレイする邦人は少ないが、当地の人のスポーツの話題はなんといってもサッカーであり、サッカーの有名選手は子供たちの英雄である。毎年12月10日頃には日本のトヨタカップがテレビで衛星中継される(22時～)。

チンボラソ(標高6310メートル)、コトパクシ(標高5897メートル)など6000メートル級の山々が万年雪をいただいでそびえており、登山する人は少なくない。登山、キャンプ用品は当地でも入手できるが、本格的なものは持参したほうがよい。

(4) スポーツクラブなど

邦人が利用している主なスポーツクラブは次のとおりである。入会申し込みの際、クラブ会員2名の署名が必要なクラブが多い。

キト・テニス・ゴルフクラブ(Quito tennis y golf club)

所在地: Urbanizacion El Condado

電話: 538-120、538-220、538-138

備考: ゴルフ、卓球、水泳、馬術、テニス、サッカー、遊園地、美容院、サウナなどあらゆる施設が整備されている。キト市内で交通の便は至極よい。邦人の多くが利用しているが、最近の入会が困難だといわれている

ロス・チジョス・クラブ(Club Los Chillos)

所在地: San Golqui, El Valle del Chillos

電話: 330-407、332-120

備考: 9ホールのゴルフコースとプール、テニスコートなどの施設がある

カスティジョ・デ・アマグアニャ(Castillo de Amaguana)

所在地: Amaguana

電話: 319-025

備考: バレーボール、卓球、水泳、サッカー、テニス、バーベキューなど、あらゆるスポーツ施設が整備されている

10-11 子供の遊び

誘拐事件が多発しているため、戸外や公園での一人遊びは厳禁である。したがって子供は家の中で遊ぶことが多いため、玩具やファミコンなどは必要である。おもちゃはアメリカ、香港、台湾、日本などからの輸入品が豊富にある。ゲーム類はスペイン語や英語で構成されているため、日本から持参したほうがよい。また、アニメやマンガなどのビデオテープを持参または送ってもらうとよい。

キトにあるカロリーナ公園は、シーズンによってはボートなども楽しめ、子供連れの散歩に適している。

11. その他のサービス

11-1 金融機関

信頼性を考慮すると、アメリカに口座を開き、日本から送金するほうが確実であるが、当地の銀行でも当座預金や普通預金の口座は開設できる。ドル普通預金（アオロ・デ・ドラレス）も可能であるが、銀行によって信頼性は大きく異なるため、多額の預金はすすめられない。

邦人が利用している主な銀行は次のとおりである。

CITIBANK

所在地：Juan Leon Mera 130 y Av. Patria

電話：563-300、561-070

BANCO DE GUAYAQUIL

所在地：Av. Colon y Reina Victoria

電話：566-800、566-797

BANCO DEL PROGRESO

所在地：Av. Amazonas 4069

電話：251-742、253-249

BANCO DEL PICHINCHA

所在地：Av.10 de Agosto y Bogota

電話：509-190、509-240

ドルの換金については上記の銀行でも取り扱いできるが、下記の機関がわずかながら率がよい。特にカサ・パス（Casa Paz S.A.）が有名で、Hotel Colon Internacional、エル・ボスケの商店街、アマソナス通りなどキト市内の各所に支店がある。

カサ・パス(Producambios-Casa Paz)

所在地：AV. Amazonas y Robles 360

電話：563-900

エクアカンビオ(Ecuacambio S.A)

所在地：Av. Republica 192 y Almagro

電話：231-982

マルチカンビオ(Multicambio)

所在地：Av. Santa Maria 482 y Av. Amazonas

電話：561-734

11-2 コンピュータ

パソコンは周辺機器も含め豊富に出回っており、消耗品の調達もできる。最近ではコンパクト社製のパソコンが流行している。購入の際は保証期間があるか否か必ず確かめること。また、それを明記した保証書を受け取ることが大切である。

コンピュータ取扱店は次のとおりである。

テルコデータ(TELCODATA S. A)

所在地：Pedro Gosseal N42-52 y Mariano Echeveria (Quito Tenis)

電話：439-607、439-608

ディンフォルマチカ(DINFORMATICA S. A)

所在地：Av. 12 de Octubre 1764

電話：228-071、503-878

ノバテル(Nobatel)

所在地：6 de Diciembre 5378 y Poitere Edif. Unicornio

電話：444-581、441-679

11-3 美容院・理髪店

美容院は多く、日本の美容院と同様にカット、パーマ、シャンプーをしてもらえる。一般に、パーマは日本と比べてかなり強めにかかるため、あらかじめ弱めに仕上げるよう依頼するとよい。また、滞在している邦人などに評判のよい美容院を紹介してもらおうと安心である。理髪店も多数あり、料金は非常に安い（1998年現在約4ドル）。ただし、散髪のみでシャンプーはしない。

整髪料などは自分に合ったものがあれば持参するとよい。石けん、シャンプー、リンスなどは豊富に出回っている。ヘア・ドライヤーも当地で入手可能である。

フランス製やアメリカ製の化粧品は豊富に出回っているが、日本製はない。肌が敏

感な人は愛用している基礎化粧品などを持参したほうがよい。マニキュア、口紅などの品質は日本のものとほとんど変わらない。

12. 観光

12-1 地方旅行上の留意点

比較的安心して旅行ができる。特に外国人に対する規制はないが、車のみならず歩行中も警察による検問が多いため、パスポートの写しと身分証明書 (Carnet) は必ず携帯すること。私服警官などに身分証明書の提示を求められたら、まず相手の身分証明書を見せてもらうこと (普通は警察のほうから先に提示してくる)。

チップについては欧米と同様である。邦人は多く払い過ぎる傾向があるので注意が必要である。

一般に、地方のホテルはあまり清潔とはいえない。シャワー付近に簡易電気温水器がついたものがあるが、スイッチを操作するときは感電しないよう注意すること。また、トイレに水を入れた大きなポリバケツが置いてあるところがあるが、これは飲用ではなく、断水時 (夜間に水を止めてしまうところもある) に用いるものなので注意すること。

主な観光地や博物館では料金をとられるが、外国人と当地の人では料金が異なる。したがって、入場、入館の際には身分証明書を呈示して観光目的の外国人ではないことを証明すること。それを忘れると、当地の人の3～8倍の料金を支払うことになる。たとえばガラパゴス旅行の場合、当地の人は10ドル程度で済むところを外国人は80ドルかかるという具合である。

観光地への交通手段は飛行機か車になる。長距離バスもあるが疲れやすいため、目的地近くまでは飛行機を利用し、そこからタクシーやバスを利用するほうがよい。

12-2 主要観光地・保養地ガイド

<ガラパゴス諸島 (Galapagos) >

ダーウィンの進化論で有名なガラパゴス諸島はエクアドル領20州のうちの1州であり、太平洋上約1000キロメートルの距離にある。

キトから飛行機でグアヤキル経由でサンタクルス島まで行き、そこから宿泊設備の整った観光船で諸島内を巡る、4～7日程度の観光コースがある。ガラパゴ (象亀)、イグアナなどの動物を観察したり、海水浴などを楽しむことができる。参加の申し込みは早めにしたほうがよい。

カメラ、フィルム（ASA200、動物の撮影にはフラッシュ禁止）、双眼鏡、スニーカーの予備、ビーチサンダル、バスタオル、レインコート、飲料水（清涼飲料水は船内で販売している）などを持参するとよい。長期滞在者の場合は、身分証明書を持参しないと外国人観光客並の入園料を取られるので注意すること。

<ミタ・デル・ムンド（Mita del Mundo）>

キトより北へ13キロメートルのサン・アントニオの近くに赤道直下であることを示す赤道標があり、その内部が資料館になっている。訪れた人は赤道をまたいで写真をとったりしている。さらに9キロメートル行ったところにカラカリの村があり、そこには赤道標のオリジナルがある。また、キトよりカヤンベへ行く途中には赤道球がある。

<クエンカ市とインカの遺跡（Cuenca y Ingapirca）>

人口40万人ほどのクエンカは「エクアドルの京都」ともいわれる古都で、石畳の市街とナトリウム灯の夜景が美しい。比較的安全な町なので、レストランの帰りなどに夜の散歩を楽しむこともできる。クエンカから100キロメートルほど離れたところには、インガピルカと呼ばれるインカ時代の遺跡が残っている。クエンカは金製品が有名である。

<バーニョス（Banos）>

エクアドルは日本と同様に火山国であるため、至るところに温泉がある。温泉には水着を着用して入ること。中でも有名なのがテウングラウア州にあるバーニョスであり、砂糖キビ食品でも有名である。金・土曜日の夜ともなると、街の通りは出店や観光客でにぎわい、軽井沢を思わせる。キトからは車で3時間半ほどであるが、バスを利用すると途中アンバット市で乗り換えるため5時間ほどかかる。

<サント・ドミンゴ（Santo domingo）>

キトから車で約3時間の低地であり、保養に適し、果物が豊富な町としても知られている。ホテル・サラカイが有名である。近くにコロラド・インディアンの部落がある。道路は急勾配が多く、車の量も多いので運転には十分注意すること。

<サリーナス（Salinas）、マンタ（Manta）、エスメラルダス（Esmeraldas）>

太平洋岸に面した保養地で、海水浴に適し、ランゴスタなどの新鮮な海産物を味わえる。いずれもキトから飛行機が運航されている。赤道下のため日差しが強い。エスメラルダスは黒人の町である。近くのアタカメス、スワのほうが邦人には馴染みやすく、外国人旅行者も多い。アタカメスの海岸には高床式のバンガローがある。

<オタバロ (Otavalo) >

キトより車で約2時間半のところにある。木曜日、土曜日の午前中にはオタバロ織などの定期市（フェリア）が開かれている。特に土曜日には観光客でにぎわうが、値段が定まっていないため交渉の必要があり、言葉のできる人か地元の人と行くことをすすめる。また、買い物をしなくても見るだけでも楽しめる。オタバロ族は美しい民族衣装を着ている。また、近くのコタカチはジャンパー、プレザー、バッグなどの皮製品が有名である。その近くにある湖ではボートに乗ることができる。

<サンアントニオ・デ・イバッラ (San Antonio de Ibarra) >

オタバロをすぎイバッラに向かう途中に、木彫りの町サンアントニオ・デ・イバッラがある。キト市内で売られている木彫り製品はここでつくられたものが多い。町に入ると木彫り製品を扱う店がたくさん並んでいるが、中ではルイス・ポトシの店が有名である。また、イバッラの手前にはバンガローがあり、休養する人が多い。その近くには、昼食などをとりながらフォルクローレなどの生演奏を聴けるところがある。

<トゥルカン (Tulcan)、ルミチャカ (Rumichaca) >

コロンビアとの国境の町で、人の顔の形などに糸杉を刈り込んであるものが有名である。コロンビアのイピアレスにある教会は美しく、一見の価値がある。コロンビア側では、コーヒーからつくった酒なども入手できる。公用旅券に渡行先を追加すれば、国境から車で1時間ほどのところにあるパストまではビザなしで行くことが可能である。それでも地元の人に同行してもらったほうが無難である。

<ビルカバンバ (Vilcabamba) >

エクアドル南部のロハの近くに、世界の長寿村として知られるビルカバンバがある。

<パンアメリカン・ハイウェイ (Panamericana) >

エクアドルをアンデス山脈沿いに縦走するパンアメリカン・ハイウェイは、トゥルカン～イバッラ～キト～ラタクンガ～アンバト～リオバンバなどの主要都市を結ぶ基幹道路である。アンデス山脈の山並が美しい。

<キト～サント・ドミンゴ～ケバド～ババホーヨ～グアヤキル>

前述のパンアメリカン・ハイウェイとは対比的に、低地農牧地帯の主要都市を結ぶ幹線道路である。バナナ農場、ヤシ林、高床式住居などがいかにも南国的である。なお、キト～サント・ドミンゴ間は急勾配、急カーブが多く、夕刻から夜は霧が発生しやすい。以前、邦人が車ごと転落して死亡したことがあるので注意すること。

<アマソナス (Amazonas) >

アマゾン川支流の熱帯地で、観光ツアーがある。また、コカなどにはナボ川の観光船が運航している。

<コーチャスキー遺跡 (Ruinas de Cochasqui) >

オタバロに行く途中にあり、大きな看板が掛かっている。国道から5キロほど入ったところで、インカ時代のピラミッド跡が残っている。

<パバジャクタ (Papallacta) >

キトから90キロメートル東にある山の中の温泉で、湯量も多く熱い温泉である。キトから車で1時間半。日曜日は混雑するので、土曜日の朝早く出かけるとよい。

<モハンダ湖 (Laguna de Mojanda) >

オタバロの西の山にあるきれいな湖で、摩周湖を思わせる。オタバロから車で30分ほどの山道(石畳)を登る。寒いので防寒具の用意が必要である。

<カルデロン (Calderon) >

マサパンと呼ばれるパン粉でつくった民芸品がたくさん売られている。11月2日の「死者の日」にはインディオが墓参し、それを見物する観光客でにぎわう。

<コトパキシ (Cotopaxi) >

活火山では世界最高峰の山であるが、山小屋(Refugio)までの4800メートルまでなら誰でも登ることができる。車でキトからアンバットへ行く途中に、コトパキシ入り口を表示した大きな看板がある。そこから約30分走ると駐車場があり、そこから徒歩で約100メートル登ると山小屋がある。さらに10分ほど歩けば青く光る万年雪が見られ、特に晴れた日の眺めは素晴らしい。

12-3 旅行

(1) 自動車

主要道路は舗装されているが、交通標識は不備なところも多く、道路に穴があいていたり石が落ちていることもあるので運転には十分注意すること。できるだけ朝早く出発し、夕刻前には到着できるようにスケジュールを組むことをすすめる。

ガソリンスタンドは少ないので早め早めの給油を心がけること。

山岳地帯には、ガードレールのないカーブが多い道路がある。徐行しているトラックなどが多いため、追い越しなどの際には十分注意すること。また、霧が発生しやすいのでフォグランプなどを使用することをすすめる。

最近車の盗難が多いので、わずかの間でも車を離れる場合はロックし、アラームを設置すること。

地方では公衆電話は皆無に等しく、特に町と町、村と村の間はガソリンスタンド、修理工場はもとより人家も少ない。故障時や非常時に対応できるよう、十分な準備をしておくこと。できれば友人と連れ立って2台以上の車両で移動したほうがよい。

(2) バス

長距離バス路線網は比較的よく整備されている。運賃が安いので当地の人はよく利用しているが、邦人の利用は一般的ではない。観光地へ行く場合は、近くの主要都市まで飛行機で行き、そこからバスやタクシーを利用するのが一般的である。

(3) 鉄道

観光用に1日に1本走っている程度で、交通手段として利用することはない。

(4) 航空機

主要都市を結ぶ航空路線はよく整備されている。料金は大変安いですが、搭乗のリコンファームやフライトが突然キャンセルされることもある。飛行場～ホテル間はタクシー利用となるが、キト、グアヤキル以外のタクシーはメーターがないため、乗る前に必ず料金を交渉しなければならない。市内や付近の観光地などもタクシーを時間で借りて回ることができる。到着時に必ず、帰りの便のリコンファームを忘れずに行うこと。

12-4 旅行代理店

キト市内、グアヤキル市内ともに旅行代理店は多くある。大使館や当地商社などが利用している代理店を選ぶのが無難である。

比較的大きな旅行社は次の通りである。

Metropolitan Touring (メトロポリタン・ツーリング)

所在地：Av. Amazonas 239 y 18 de Septiembre

電話：506-650～655

備考：邦人スタッフがいたので間違いが少ない。Hotel Oro Verde、エル・ボスケ商店街の中などに支店があり便利である

Wagons Lith (ワゴンス・リッツ)

所在地：Av. 6 de Diciembre 3110 y Pedro Carrasco

電話：506-241

Coltur (コルトール)

所在地：Robles y Paez

電話：545-777

なお、エージェントから購入した航空券は、便名、日付などを入念にチェックする

こと。3日前までに必ずリコンファームすること。

12-5 ホテルなど宿泊施設の手配

ガイドブックなどにホテル一覧が載っている。直接予約することも可能であるが、国内、海外旅行ともに代理店を通して手配するほうが確実である。エクアドル国内、特に地方のホテルの宿泊料は安価なので、なるべく上のクラスの部屋（habitacion para matrimonio：当地でいう新婚旅行用の部屋など）を予約したほうがよい。2級クラスになるとシャワーのない部屋、お湯が出ない部屋などがあるので注意する必要がある。

13. 治安、緊急時の心得

13-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

該当情報なし。

(2) 緊急時の連絡

緊急時に備えた連絡網があり、在留邦人は大使館の指示で行動する。平時から、いざというときに家族とともに近隣諸国へ避難できる程度のドル現金を、トランクやベルトなどに用意しておくことよい。大使館からの指示があるのは、かなり深刻な事態に陥ってからである。その前に当地の人や邦人から十分な情報を得ることが大切である。

13-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

犯罪件数は増加している。特に組織的・計画的な犯罪が目立っている。グアヤキルの治安が悪いといわれているが、キトも決してよくはないので注意が必要である。特にセントロ（旧市街）は南部に位置し、教会、広場、建物、街路などにスペイン領時代の面影を残しており、政治の中心でもあるが、治安はよくないので十分注意したほうがよい。中央郵便局もセントロにあるので、書留や小包などを受け取りに行くときは注意すること。また、セントロは道幅が狭いため駐車スペースがなく、道路は複雑で一方通行が多いため、タクシーで行くことが望ましい。パネシージョ（小高い丘で頂上に女神像があり、レストランもある）は展望がよく、キト市内を一望できるが、夜は危険なので行かないほうがよい。

邦人が受けた被害の多くは、ひったくりや車中の物の盗難である。

(2) 防犯対策

緊急時に警察（TEL：101）に通報しても到着までに時間がかかる場合がある。ある程度の自己防衛を平素より心がけておくことが必要である。

<一般的な対策>

事件を目撃しても、メモや写真をとったり、現場で注視したり、捜査に積極的に協力していると犯人に誤解されるような行動はとらないこと。

邦人以外の負傷者を発見して救助するような場合には、加害者と誤解されないよう慎重を期すること。

常に身近に注意し、日常と異なることがらをすぐに発見できるようにしておくこと。危険発生の際、投棄して救援を依頼できる文書を用意しておき、常時携行しておくこと。

<通勤・旅行時対策>

犯罪者は犯行前に目標とする人の行動を下調べする。通勤や買物の際はその都度経路や時間を変えるなどして、犯人側に行動を予見させないことが肝要である。

不必要な夜間外出はできるだけ避け、外出せざるを得ない場合は極力2人以上で行動し、帰宅予定時間を家族や信頼できる友人に告げておくこと。

車の乗降の際が特に危険である。不審な車や人物が周囲にいないか確認すること。

待ち伏せ予防のため、自宅や事務所前などに待機しているタクシーはできるだけ利用しないこと。その他「7-1 (2) 自家用車を利用する場合」も参照のこと。

<自宅・事務所などにおける対策>

建物にはしかるべき安全設備を施すこと。取材などを含め、不必要に自分や住宅、事務所などの写真を撮らせないこと。知らない人を中に入れないこと。

使用人の身元をよく調査し、身元不明の人は雇用しないこと。また、使用人には旅行計画や取引の詳細などを聞かれないようにすること。

犯人は、セールスマン、道路工夫、労働者、露店の売り子などを装い、目標とする人について事前調査を行うことが多い。不審なことがあれば警察に通報すること。

自分や家族の行動、所在をあまり他人に知らせないこと。

郵便物や小包を受け取る際は、開封前に危険物が入っていないか確認する習慣をつけておくこと。当地の友人、知人から予想外の小包が届いたときも、犯人がカモフラージュのために友人などの名前を使った可能性もあるので、不審を感じたら差出人に電話で確認してから開封することをすすめる。

(3) 被害時の心得

泥棒などに遭遇したときは抵抗せず、いくらかのお金を渡して身を守ること。所持金が少なかったりすると、大きなけがをすることもするため、100ドル程度の現金をいつもポケットの奥に常備しておくことをすすめる。

事件発生後の連絡先電話番号は次のとおりである。

日本国大使館 (Embajada del Japon)	561-899、563-127
警察 (Policia)	101
赤十字 (Cruz Roja)	131
消防署 (Bomberos)	102 または 231-122
血液銀行 (Banco de Sangre)	582-480、582-481
メトロポリタノ病院 (Hospital Metropolitano)	431-520
ボス・アンデス病院 (Hospital Voz Andes)	241-540
バステウル病院 (Clinica Pasteur)	546-519
婦人病院 (Clinica de la Mujer)	458-000、458-372

13-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

キトは高地であり酸素が少ないためか火災は少ない。風水害も少ないが、アンデス山脈の火山に起因する地震が多い。地震はキトに限らず全国的に多い。

(2) 防災対策

万一のときに備えて、飲料水（ミネラルウォーター）、ラーメン、缶詰などの食料品を常備しておくことよい。また、家族などと落ち合う場所も2～3カ所程度決めておくことよい。市内のビル建築現場を見れば納得できるが、鉄骨鉄筋の建物は少なく、外見は立派でも、そのほとんどが鉄線とブロックで組み立てたものが多い。したがって地震の被害は思いのほか大きくなる。住居には、地盤の強固なところを選ぶことよい（過去の地震で被害の少なかった地域）。

停電が多いので、充電式電灯（60ドル程度）を常備しておくこと。電器店ならどこでも扱っている。

(3) 被災時の心得

在留邦人は日本国大使館の指示に従うこと。

14. 出入国手続きおよび帰国手続き

14-1 入国時

(1) 空港施設概要

キト国際空港は国際線および国内線の発着に利用されており、2階建ての空港ビル（ビル内は国際、国内に分かれている）がある。成田空港のようなフィンガーはないので、飛行機からタラップを降りて、空港ビルまで歩くことになる。高地に不慣れな人は酸素が薄いので少々きついつと感じるが、ゆっくり歩けば大丈夫である。

空港ビル内で迷う心配はない。

(2) 入国手続き書類

パスポートと機内で配られる入国カードのみで、税関申告書、外貨持ち込み申請書などはない。

(3) 入国審査

機内で渡される入国カードに必要事項を記入して、到着後パスポートとともに入国審査官に提出する。パスポートに入国スタンプを押してもらい、入国カードの半券とともに返してもらう。この半券は出国時に必要になる。日本やアメリカのようにホチキス留めなどはしてくれないので、落とさないよう注意すること。また、紛失しないよう大切に保管すること。入国に際してかかる費用はない。

入国審査官に質問されることはほとんどないが、渡航目的、エクアドルでの勤務先、身分（たとえばIngeniero：技術者、技師）くらいは答えられるようにしておくとい。できれば、A1フォーム、B1フォームの写しをJICAから受け取り携行するとよい。

(4) 税関検査

入国審査の後、バゲージ・クレームで機内に預けた荷物を引き取り、税関検査を受ける。一時帰国時など着任時でない場合は、公用旅券であっても検査を受けることがある。食料品の持ち込みは原則的に禁止されているため、所持している場合は稀に法外な金銭を要求されることがある。このようなときの対応は、経験のある当地の邦人などに前もって聞いておくとよい。

(5) 空港内での留意点

置き引きなどの盗難には十分注意すること。

(6) 空港からの主な交通手段

キト国際空港はキト市内にあるので、容易にタクシーなどを利用できる。

(7) その他の留意点

日本出国時に預けた荷物のクレーム・タグ（引換券）は、キト国際空港で税関検査後に必要となるため、紛失しないよう注意すること。

乗り継ぎ空港での荷物の扱い方、空港の概要、ホテルで休憩する場合の交通手段などは、あらかじめ旅行会社から十分に説明を聞き、迷わないようにしておくこと。

中南米の飛行機は、手荷物を入れるスペースが十分でないものが多い。便によっては、機内に入る直前になって大きい手荷物を預けるよう指示される場合がある。したがって手荷物にも鍵をかけておくことが望ましい。

重い手荷物の運搬には、キャリア（折りたたみ式台車）があると便利である。

到着後の外貨交換は、空港ビル内（出国待合ロビー）のみならず、ホテルでも可能である。多額の交換には、市内の Casa Paz S. A. などの換金所（カンビオ）および銀行を利用したほうがよい。

JICA派遣専門家は滞在ビザを持っているが、大使館経由でエクアドル外務省にビザを発給してもらう必要がある。身分証明書も同様である。なお、身分証明書が発行されるまではパスポートを携帯する必要があるが、紛失、盗難などを考慮して原本は安全に保管し、コピーを携帯するとよい。

14-2 出国時

(1) 出国時の概要

チェックインの際に 25 ドル（またはスークレ）の空港利用税が必要である。

(2) 出国手続上の留意点

国際線の出国待合ロビーにある航空会社カウンターに、パスポート、航空券を提出して荷物を預ける。パスポート、航空券と搭乗券の半券を受け取ったら、空港利用税支払い窓口へ行き、航空券、搭乗券の半券とともに 25 ドルを支払い、領収シールを貼って返してもらう。手荷物検査の後、出国審査官にパスポート、搭乗券、入国カード残券を提出する。パスポートに出国スタンプを押してもらい、搭乗券とともに返してもらう。その後、出国待合ロビーで待機する。ロビー内には小規模な免税店がある。指定時刻になったら、便ごとに分かれた待合室に入る。ここでタバコを吸うか否かを告げて座席指定を受け、搭乗券を預けた荷物のクレーム・タグがついている券と交換してもらう。待合室で待っているときに、麻薬犬による検査を受けることがある。

預けた荷物のクレーム・タグは紛失しないよう気を付けること。

14-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

大使館経由で発給してもらったビザの期限が切れていないか確認すること。当地で取得した運転免許証は、帰国後、日本の免許証を申請するときに必要になるので持ち帰ること。JICA派遣専門家の場合、帰路変更については事前に連絡、手配する必要がある。

(2) 車の処分

友人、知人などへの売却、新聞広告による売却、ディーラーに依頼する、中古車市に出すなどの方法がある。また、車両本体に「売ります (Se vende)」と連絡先電話番号を表示しているケースもある。いずれも短期間での売却は難しい。

(3) 家財道具の処分

友人や後任者などへの売却、譲渡が多い。日本に送る場合は輸送業者に依頼すればよいが、安全性や速さを鑑みてアナカンの利用をすすめる。書籍類は日本人学校へ寄贈するのも方法である。

主な輸送業者は次のとおりである。

Metropolitan Expreso (メトロポリタン・エクスプレッソ)

所在地: Av. 10 de Agosto 13150

電話: 475-733

Servi-Mudanzas (セルビ・ムダンサス)

所在地: Av. 6 de Diciembre 1870 y Baquero

電話: 564-497

(4) 住宅の明け渡し

家主へは、遅くとも1～2カ月前には通知すること。契約時に交わした設備・家具リストと照らし合わせて問題がなければ、保証金が返還される。

(5) 外貨持ち出し規制

該当情報なし。

15. 私財の輸送、引き取り、購入

15-1 家財道具

(1) 輸送業者

日本よりアナカンで送る場合は、赴任に向けて取引のあるエージェントに相談する

とよい。JICA派遣専門家の場合は送付先を日本国大使館としておき、着任後、荷物が大使館に着く前にインボイス、パッキングリストを提出して引き取りを依頼し、大使館出入りの業者に住居へ搬送してもらうとよい。

本人が出発する1週間ほど前に業者に荷物を預けた場合、エクアドルには着任後10日ほどで到着する。ただし、その引き取りに約2カ月を要するため、当座必要なものは携行したほうがよい。南米線では1人につき2個までのスーツケースを預けることができる。

(2) 輸入手続き

該当情報なし。

(3) 輸入荷物の受け取り港

該当情報なし。

(4) 家財道具の購入

家財道具は当地の生活に適したものが望ましい。たいていの家具、電化製品は当地で調達可能である。価格は国産品、輸入品ともに日本より安価である。

15-2 自動車

(1) 一般状況

自動車の輸入には価格の40%程度の税金がかかるため、当地で調達したほうがよい。日本車の多くは中南米で組み立てられており、アンデス協定により中南米地域からの輸入車には課税されない。

(2) 輸入手続き

メーカーの代理店が代行してくれる。詳細は代理店に確認するとよい。

(3) 任国での購入

帰国する邦人に譲ってもらうのが簡単ですすすめられる。キトは湿度が低く、シャーシーなどが傷みにくいいためか、製造から10年以上の車が多数走っている。前任者から購入するケースが目立つが、邦人やカウンターパートなどの友人・知人からの購入、中古車ディーラーからの購入もある。

中古車の購入に際しては、売り手と所有者が同一人物であるかどうかなどに注意して、自動車登録証 (Matricula) を含めて譲渡してもらう必要がある。なお、売買契約書は保管しておくこと。

1995年現在、新車で2～3万ドル (プラス税金10%) 程度である。中古車であっても日本のように急激に価値が下がるようなことはなく、2～3年間使った車でも新車の8割程度の価格で購入する人が多い。

一般に、新車の場合は（工場からの直売もあるが）手元に届くまでに数カ月を要する。また、税金やナンバープレートの取得など面倒な手続きも多い。

(4) 自動車登録

新車の場合は、購入と同時に登録手続きが必要である。ナンバープレートの発給まで3～6カ月間を要するので、手続き中である旨の証明書を発行してもらい、それを携行する必要がある。ナンバープレート取得の費用は300ドル程度である。

中古車を購入してから次期登録までの間は、登録書（前所有者の名義）とともに、自分が購入したことを証明する売買契約書のコピーを携帯するとよい。これらの書類は車内に放置しないこと。

(5) 免許証取得

日本で取得した国際免許証でも有効期限内（1年間）ならば問題はないが、できれば早期にエクアドルの運転免許証（有効期限4年）を取得したほうがよい。取得するには本人が警察（免許発行所）へ出頭し、写真撮影などを経て交付される。交付までの手続きはかなり面倒で、いくつもの窓口を回ることになる。日本の運転免許証（国際免許を含む）を持っていない人が、当地で新規に取得する場合も同様である。

自動車登録や免許証取得の便宜を図ってくれる人がいる。その人に書類を作成してもらい、警察へ同行してもらえば、容易に取得することが可能である。

ナンバープレートは、一般車が白ナンバー、技術協力関係者の車が黄色のATナンバー、外交官関係者が黄色のCDナンバーとなっている。

(6) 保険、税金

保険加入手続きは各自で行う。掛け金が高い割に保証は少ないため、加入していない邦人も多い。

登録（マトリクラ、Matricula）は年1回で、税金を納めると更新される。

16. 社交

16-1 風俗習慣

生活、社交面において、ヒンズー教、イスラム教の国々のように厳しく注意する点は特にない。エレベーターや乗り物などは女性優先であり、食事のマナーも含めてすべて欧米と同様である。

2月のカーニバル時期になると、アンバットを除くエクアドル全土で、互いにシャンプーなどの容器やビニール袋などで水をかけ合う習慣がある。窓を開けていると車

内にも水を入れられる。ビルから水袋が落ちてくることもあるので注意すること。また、アンバットでは花祭りが開催され、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロのカーニバルなどがテレビで中継される。

16-2 パーティーでの留意点

他の中南米諸国同様、パーティー（フィエスタ）の好きな国民である。一般に、パーティーは夜20時頃から始まり、終わるのは深夜、ときには翌朝まで及ぶこともある。

招待された場合は定時より30分から1時間程度遅れて行くのが一般的である。また、ワイン、ウイスキー、ちょっとした日本の小物などを持参すると喜ばれる。折り紙や和風のクリスマスカードなどを持参しておくといよい。また、カレンダー（エクアドルでは貴重品）も喜ばれる。

16-3 来客時の留意点

邦人と比べると陽気な人が多い。歌やダンス、トランプなどの遊技を企画して場を盛り上げると喜ばれる。政治や経済の話は避けたほうがよい。

16-4 訪問時の留意点

パーティーと同様に、ワインや日本の小物を持参すると大変喜ばれる。

16-5 禁止されている言動

特に禁止されている言動はないが、酔っぱらいは嫌われる。日本のように、酔ったうえでのことは非常識な言動でも許されるということはない。

17. 任国官公庁

内務・警察、外務、国防、教育文化、大蔵、エネルギー・鉱山、公共事業通信、商工統合、労働、農牧、厚生、社会福祉、情報観光、住宅・都市開発の14省がある。

執務時間は8時～12時30分、13時～16時30分が一般的である。ただし、午前中は9時以降、午後は14時以降にならないと職員がそろわないため、訪問の際は注意すること。

アポイントを取っている場合でも、出かける前に確認の連絡をしてから出向いたほうがよい。

主な省庁は次のとおりである。

農牧省(Agricultura y Ganaderia)

所在地：Avs. Amazonas y Eloy Alfaro

電話：548-708

情報観光省(Informacion y Turismo)

所在地 : Reina Victoria 514 y Roca

電 話 : 517-514

労働省(Trabajos y Recursos Humanos)

所在地 : Luis Felipe Borja y Ponce

電 話 : 524-666

教育文化省(Educacion y Cultura)

所在地 : Mejia 322 y Guayaquil

電 話 : 216-224

内務・警察省(Gobierno y Policia)

所在地 : Espejo y Benalcazar

電 話 : 580-971

社会福祉省(Bienestar Social y Promocion)

所在地 : Robles 850 y Av. Amazonas

電 話 : 540-750

商工統合省(Industrias, Comercio y Integracion)

所在地 : Avs. Amazonas y Eloy Alfaro

電 話 : 527-988

外務省(Relaciones Exteriores)

所在地 : Av. 10 de Agosto y Carrion

電 話 : 230-100

18. 在外日本関係機関など

在エクアドル日本大使館 (Embajada del Japon)

所在地 : Calle Juan Leon Mera No.130 y Av. Patria,

Edificio de la Corporacion Financiera Nacional, 8 Piso,

Casilla 17-21-01518, Quito, Ecuador

電 話 : 561-899、563-127

F A X : 503-670

執 務 : 月～金曜日の9時30分～12時、14時30分～17時が受付時間であるが、邦人職員の

執務時間は9時～12時30分、14時～17時30分である

JOCV エクアドル調整員事務所 (Oficina de JOCV)

所在地 : Edificio Proinco Calisto Piso 13, Calle Robres 653 y Av. Amazonas,

Casilla17-21-01466, Quito,Ecuador

電 話 : 230-426、503-780

F A X : 564-883

執 務 : 月～金曜日の9時～12時30分、14時～17時30分

キト日本人学校 (Nihonjin Gakko)

所在地 : Calle-E, sin/numero Pusqui Pomasqui, Quito, Ecuador

電 話 : 5932-561-899

F A X : 5932-503-670

19. 地方都市

1998年9月現在、グアヤキルに2人、首都キトに3人のJICA長期派遣専門家が赴任している。また、青年海外協力隊員51名はキト、グアヤキル、クエンカ、アンバット、ラタクンガ、ポルトビエホなど各地で活動している。

任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は政府間技術協力のために開発途上国へ赴任する専門家などのJICA関係者が任国への入国および滞在するために必要とされる情報、特に生活情報を提供するものです。

専門家などのJICA関係者は、技術協力協定などの国際約束に基づいて派遣されておりますので赴任国で課せられる税金が免除されることがあります。任国情報はこうした関係者を対象として作成されておりますので、あらかじめご了解願います。

..... アジア地域.....

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア (ジャカルタ、バンドン、
ジョグジャカルタ、メダン)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム
19. モンゴル

..... 中近東地域.....

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタル
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. チュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブダビ、アール)
16. イエメン (サナア)

..... 太平洋地域.....

1. フィジー
2. キリバス
3. ミクロネシア
4. バラオ
5. バブア・ニューギニア
6. ソロモン諸島
7. ヴァヌアツ
8. 西サモア
9. トンガ
10. マーシャル諸島

..... 欧州地域.....

1. カザフスタン
2. キルギス
3. ポーランド
4. タジキスタン
5. トルクメニスタン
6. ウズベキスタン
7. ハンガリー
8. ブルガリア
9. チェッコ
10. ルーマニア

..... アフリカ地域.....

1. ベナン
2. ブルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. ギニア・ビサオ
11. コートディボアール
12. ケニア
13. リベリア
14. マダガスカル (アンタナナリボ、アンチラナナ)
15. マラウイ
16. モーリシアス
17. モザンビーク
18. ニジェール
19. ナイジェリア
20. ルワンダ
21. サントメ・プリンシペ
22. セネガル
23. セイシェル
24. ソマリア
25. タンザニア
26. トーゴ
27. ザイール
28. ザンビア
29. ジンバブエ
30. スワジランド
31. ボツワナ
32. エリトリア
33. 南アフリカ
34. ジブティ
35. ウガンダ

..... 中南米地域.....

1. アルゼンティン
2. ボリヴィア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオ・デ・ジャ
ネイロ、ポルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグアイ (アスンシオン、エンカルナシオン)
15. ベルー
16. セント・ルシア
17. トリニダード・トバゴ
18. ウルグアイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグア
21. ジャマイカ
22. エル・サルヴァドル

「任国情報（エクアドル）1999年版」

平成11年10月15日発行

編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10番5号

電話 (03) 3269-2357



J
C
LIBI